

# 琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係 沖縄復帰準備委員会(1) (代表者会議第1回～第6回)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43738">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43738</a>

第三回全合

(45・6・3)

万大博阪

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

100

電信写

総番号(TA) 25522 主管  
 70年 月 日 19時45分 沖 絶 発 米北  
 70年 5月 26日 23時13分 本 省 着 米北

外務大臣殿 高麗(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

準備委員会に関する推測記事

第76号 平(秘扱) 至急 (ゆう先処理)

1. 26日付朝日朝刊の記事に関連し、当代表事務所としては、本土記者団側の小委員会の審議状況についてのプレス・ブリーフの要求にかかわらず、現段階では一切の解説ないし発表を差しひかえており、ましてや特定のアイテム(現段階で)を「日本案」としてまとめて公けにしたと言うが如きことは考え得られざるどころであり、当該記事の執筆者のペンきょうのあとには認めらるるも、準備委の現在の作業状況との関連では、言うなれば極めてスペキュラティブな記事であるとみなさざるを得ない。右取り急ぎ当方事情申進する。

2. なお、6月3日の代表会議に際しては、何らかの形式による記者会見を考慮すべきものと思料するも、その進め方等については、今後米、日ゆう側とも打合わせるほか、時により本省側の指示を求めると致したい。

(27日09:15 主管課長に連絡済) (3)  
 電信課

大政事外外機信  
 務務典房  
 次官官審審長長  
 機機人電厚計  
 備備文会常給

参調折企  
 参領旅移

ア 参地中東  
 長 北東西  
 参北北保  
 参一  
 参西東洋  
 西東

近ア参近ア  
 経次総経国万

参質統  
 参政技二  
 国一理

参参協規

参政経科

参社専  
 参通内外  
 参一

外務省

秘 1

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

315

電信写

総番号(TA) 25945 主管  
 70年 月 日 14時45分 沖 絶 発 米北  
 70年 5月 28日 18時58分 本 省 着 米北

外務大臣殿 高麗(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

本使ラレポート懇談(毒ガス撤去  
 かつ回帰備を代表会談)

781号 平(秘扱)

本日「ラ」弁務官と昼食を共にし、種々懇談したところ、その発言概要次のとおり。

1. 毒ガス問題については昨日立法院代表者にも申述べたごとく、受入地が決り次第万全の注意をもって輸送すべき考慮し、おしも未だ受入地の決定の通報を受けおらず、大統領が受入地の変更に踏切らるる中、「シヤクソン」上院議員が国防長官をOFFERした事、経緯についても分るとあり、極めて有力の上院議員であり、その反

万大博阪

大政事外外機信  
 務務典房  
 次官官審審長長  
 機機人電厚計  
 備備文会常給

参調折企  
 参領旅移

ア 参地中東  
 長 北東西  
 参北北保  
 参一  
 参西東洋  
 西東

近ア参近ア  
 経次総経国万

参質統  
 参政技二  
 国一理

参参協規

参政経科

参社専  
 参通内外  
 参一

外務省

秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

本日は専断けびを待たなかったものと思  
 います。当地における輸送の手順は不手整っ  
 ているが「ルート」の変更は防衛上の理由  
 で今は発表出来ません。本件がスグ「テテ  
 ラント」として終了し、高価なもので  
 あるので、廃棄等は考えられぬ。数量は  
 軍事上の秘密だが、大使のいわれた数字  
 の真中に近い（当地では5万トン、1万  
 3千ト、4320トン等の報道あり、APコン  
 マック電は1万3千トン等の数字ありと  
 述べたものに対し）、なお本使より山中長官  
 は記者会見において米側の立場を充分考  
 慮しての発言をなし、人道上の見地から  
 安全に他の場所へ持去ることを強く希望  
 してあるが、客は事実において緊急に  
 ら沖繩から安全無事へ持出すことが必要  
 であり、その方針で慎重にやってみよう

秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

旨を申述べておられます。

2. PRECOM の6月3日の会合で議事の  
 LEADERSHIP を誰がとるか、主席人とする  
 ことは、ワシントンには反対するべく、順序か  
 らいならば、次回は自分の着であるが、意見  
 如何とのことにつき、本使より英語で議  
 事を進め、建て前で次回は当然米側とし  
 るやり方があるが、然るべく適当な方法  
 で右に便宜さや疏細を説明して見よう  
 ことを約し、又合同記者会見は次回々議事  
 の内容からみて、3人並んで行なう要な  
 らばよしとのことにつき、代理としてや  
 りせること等然るべく便法を検討するこ  
 とにしよ。

3. 先週の毒ガス集会の時、自分はヘリコ  
 プター一機牽引して来たが、集会でも等か  
 り整理と行なわれたいと願う。

秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

発言に対し、本使より大方は賛見と同じ  
だが、我方は琉警の情報として米人が  
デモ隊を弾圧したとのことあり、本使  
の注意を引いたと述べたのに対し、その  
確のことは、厳重に注意して、その  
事実かどうか調査して報告するとのこと  
である。今年分の春期交渉は平穩に進  
んでいゝとの報告を受けて、その事務  
官の発言に対しては、上層の立候補により  
下部逸散の徒の突き上げの心配あること  
及び米側の責任ではあるが、東京政府の  
特別の配慮による一時見舞金の支給が  
住所不明、書類の不備等で未だ受領さ  
しぬが、今年分は上記のことを注意せらる。

(3)



万大  
博跋

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

117

電信写

大政外外  
務次典房  
官官審察長長  
備備  
備備  
備備  
備備

参調析企  
参領旅移

参地中東  
長北西  
参北北保  
参一二  
参西東洋  
西東

近ア長  
参近ア  
次総経国万

長参質統  
参政技二  
協協長条  
参参協協

長国  
参政経科  
長参  
参参  
参参  
参参

総番号(TA) 26183 主管  
70年5月29日 18時25分 津 繩 発着  
70年5月29日 20時47分 本 省 着 北  
外務大臣 閣 高 瀬 大使 臨時代理大使 総領事 代理

代理会議

等88年平(社扱イ)

往電等77年E周

本29日代理会議の議事要旨次の通り。

1. 来る30日9時30分回 PREPOM の
  - (i) 開催時刻を午後3時とすこと。
  - (ii) 記者会見の方法につきシットより各代理の意向を仄見し、(i)に付20日疏とも異議なきこと。(ii)に付20日(米側は HICOM の意向を月曜日(1日)確認できるものと見られ、代表による共同記者会見には否定的見解なすべしとの趣意) 賀陽より代表による共同

外務省

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

記者会見が不可ならは代理レベル  
会見も一案なるべしと述べた。津  
瀬長が代理レベルの共同会見に  
可なるも主席としては代表及び顧問  
による共同記者会見を希望しており否か  
不可能ならは記者団からの要請如何  
にもよるか主席個人の記者会見は  
やらざるを得ないであろうと述べた。  
2. 会議当日の新聞発表文及び代表  
会議への報告文々の内容については  
夫々案文作業を進行することと述べた。  
3. 次回は6月1日の予定。 (13)

—2—

外務省

ソウ  
ヒ

大坂  
万博

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

86

大坂外務局

事務次長	典房
大臣官房長	長
秘書長	計
文書課長	給
参事	企
参事	移

総番号(TA) 26442 主管  
 70年 月 日 18時35分 庁 経 発 北  
 70年 5月 30日 23時39分 本 省 着 北  
 外務大臣殿 高瀬(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

準備委員会に対する代理会議  
 の報告

第91号 平(秘談) 至急  
 往電第88号に同じ

6月3日の準備委員会第3回会議に  
 提出すべき代理会議の報告につき、作業  
 委員会レベルで協議の結果、29日別電  
 第92号の通りの暫定的草案を得たこと  
 知らせている。本草案内容については今後  
 修正あるかも知れないこと、右不含有り  
 ない。なお、5項TABは産業経済小委  
 のP.A.に肉付する等、有り得る結果を得た  
 こと最終的に確認し、改めて検討する予定  
 である。TABは往電第83号の

外務省

ア 参地中東	長
北	西
参北	保
中	南
参西	京
西	東
近ア	参参近ア
長	次総経国
長	参参統
参	国
参	技二
参	国一理
参	参参協
長	国
参	政経科
長	軍参
参	参参内外
長	文
参	長

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

秘

WING ITEMと往電第74号の6項目  
 及び往電第84号の4項目と73号見込み  
 について念のため(TABは既定方針通り)。

3)

外務省

ソビエト 万大 閣

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

政(外)務(省)  
 務次 典房  
 官 審 審 長 長  
 備 総 人 計  
 備 文 会 營 給

電信写

392

国 資 長 領 移 長  
 参 調 析 企  
 参 領 旅 移

總 番 号 (T A) 26445  
 70 年 5 月 30 日 18 時 48 分 沖 繩 省 主 管  
 70 年 5 月 30 日 23 時 42 分 本 省 発 着 米 北 /

外 務 大 臣 殿 高 瀬 (大 使) 臨 時 代 理 大 使 總 領 事 代 理

準 備 委 員 会 へ 対 する 代 理 会 議 の 報 告

才 92 号 平 至 急  
 往 電 才 91 号 別 電

ア 参 地 中 東  
 長 北 東 西  
 参 北 北 保  
 中 南 参 一 二  
 欧 参 西 東 洋  
 長 西 東

近 了 参 近 ア  
 長 参 統 國  
 参 政 技 二  
 参 政 一 理  
 参 協 協 國  
 長 参 政 科  
 参 社 專  
 参 道 内 外  
 文 一 二

(以下別紙英文)



29 MAY 1970 REPORT TO THE PREPARATORY COMMISSION FROM  
THE ALTERNATES.

1. AT THE PREPARATORY COMMISSION  
( HEREINAFTER "COMMISSION" ) MEETING ON 6  
MAY 1970 THE ALTERNATES WERE DIRECTED TO  
SUBMIT AT THE NEXT MEETING OF THE COMMISSION  
AN ESTIMATE OF TOTAL COMMON  
EXPENSES. AN AGREED BUDGET ESTIMATE IS ATTACHED  
AT TAB A, AND THE ALTERNATES INVITE THE  
COMMISSION TO APPROVE IT.

2. THE COMMISSION APPROVED A SET OF PRINCIPLES FOR THE  
BUDGET AT THE 6 MAY MEETING WHICH PROVIDED THAT  
THE ORIGINAL ESTIMATE SHOULD BE DETERMINED  
FOR THE PERIOD 3 MARCH 1970 -  
31 MARCH 1971. IT HAS BEEN FOUND NECESSARY  
FOR FISCAL REASONS TO CHANGE THIS PERIOD  
TO 1 APRIL 1970 - 31 MARCH 1971. THE  
ALTERNATES ALSO INVITE THE COMMISSION TO  
APPROVE THIS REVISION.

3. AT THEIR 6 MAY 1970 MEETING THE COMMISSION APPROVED THE  
ESTABLISHMENT OF FOR STANDING  
SUBCOMMITTEES. BY 18 MAY THE RESPECTIVE  
GOVERNMENT HAD NAMED THE PERSONNEL WHO WILL

BE THE REGULAR MEMBERS OF THE SUBCOMMITTEES.  
IN THE MEANTIME ALL OF THE SUBCOMMITTEES  
HAVE MET AND HAVE BEGUN TO DRAW UP THEIR  
WORK PROGRAMS.

4. AT THEIR MEETING ON 6 MAY  
1970 THE COMMISSION ALSO DIRECTED  
THE ALTERNATES TO:

A. FORMULATE  
PROCEDURES FOR THE COORDINATION OF THE SUPPLYING  
TO EACH GOVERNMENT OF INFORMATION AGREED AS  
NECESSARY FOR THE PROMOTION OF THE PREPARATIONS  
FOR REVERSION.

B. FORMULATE PROCEDURES  
FOR THE COORDINATION OF INFORMATION-GATHERING  
ACTIVITIES BY OFFICIAL JAPANESE GOVERNMENT  
MISSIONS FROM AUTHORITIES OF THE USG IN  
OKINAWA FOR PURPOSES RELATING TO  
REVERSION.

C. ARRANGE EFFECTIVE MEANS  
BY WHICH NON-RYUKYUAN RESIDENTS, INCLUDING  
BUSINESSMEN AND PROFESSIONALS, CAN CONSULT  
WITH THE APPROPRIATE AUTHORITIES OF THE GOJ  
PRIOR TO REVERSION. THE ALTERNATES HAVE NOW

ESTABLISHED THE NECESSARY PROCEDURES. INCLUDING THE NAMING OF SPECIFIC OFFICIALS TO BE INITIAL POINTS OF CONTACT.

5. AT THE 6 MAY 1970 MEETING THE COMMISSION ALSO DIRECTED THE RESPECTIVE SUBCOMMITTEES TO PROCEED UNDER THE DIRECTION OF THE ALTERNATES TO IDENTIFY PROBLEMS TO BE SOLVED BEFORE THE RETURN OF ADMINISTRATIVE RIGHTS TO THE GOJ. TO DEVISE MEASURES TO SOLVE SUCH PROBLEMS AS ARE TO BE DEALT WITH IN OKINAWA, AND TO SUBMIT A PROGRESS REPORT AT THE NEXT COMMISSION MEETING. THE ALTERNATES AND THEIR STAFFS HAVE PRODUCED TWO LISTS OF PROBLEM AREAS. THE FIRST LIST, TENTATIVELY IDENTIFIED AS FALLING PRIMARILY WITHIN THE PURVIEW OF THE SUBCOMMITTEE FOR INDUSTRIAL AND ECONOMIC AFFAIRS, IS AT TAB B. THE SECOND LIST, TENTATIVELY IDENTIFIES AS BEING PRIMARILY WITHIN THE JURISDICTION OF THE SUBCOMMITTEE ON LOCAL PREPARATIONS FOR TRANSFER OF ADMINISTRATIVE RIGHT, IS AT TAB C. THESE LISTS ILLUSTRATE THE PROGRESS SO FAR ACHIEVED BY THE

SUBCOMMITTEES. THE ALTERNATES INTEND TO CARRY THIS WORK FORWARD. AND THE CONTINUED APPROVAL OF THE COMMISSION FOR THEIR DOING SO IS INVITED.

6. THE ALTERNATES INVITE THE COMMISSION TO APPROVE A PRESS CONFERENCE BY THE ALTERNATES IMMEDIATELY FOLLOWING THIS MEETING.

7. TO RESPOND TO THE REQUEST OF THE CONSULTATIVE COMMITTEE TO BE KEPT INFORMED OF THE PROGRESS OF THE COMMISSION FROM TIME TO TIME, THE ALTERNATES RECOMMEND THAT A COPY OF THIS REPORT, UNDER THE TITLE OF "REPORT TO THE CONSULTATIVE COMMITTEE FROM THE PREPARATORY COMMISSION," BE FORWARDED THROUGH PROPER CHANNELS TO CONCOM TOGETHER WITH AN INDICATION OF THE ACTION TAKEN ON IT BY THE COMMISSION AT THE 3 JUNE MEETING.

万大  
郵便

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の注管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

43

大蔵省  
事務次長  
典房

電信写

大臣官舎審議長  
備人池原計  
備及法管総

総番号(TA) 26607  
 70年 月 日 18時10分 沖 縄 管 署  
 70年 6月 2日 09時01分 本 省 署

外務大臣殿 高橋大使 臨時代理大使 総領事 代理

準備委員会第3回会議に関する新聞発表文

第101号 平 大至急

往電第88号に関し

第3回会議の新聞発表文につき本ノ日アドホックの代理会議で討議した結果、別電第102号のとおり暫定的草案(和英文)を得たので通報する。なお、多少の修正もあり得るので右お合みありたい。

(1)

国資長 参調折企  
領移長 参領旅移

7 参地中東  
長 北東西  
参北北保  
参二  
参西東洋  
長 西東

近ア長 参近ア  
参総経国大

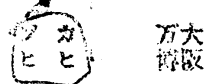
長 参資統  
参政技二  
国一理

参条協規

長 参政総科

長 参社専

参道内外  
一二



万大  
郵政

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

756

大政厚外外副官 電信写

事務次官  
大臣官舎審長  
秘書官  
文会官給

参調所企  
参以旅移

参地中東  
北西  
参北北保  
参一二  
参西東洋  
西東

近了長  
参書近了  
次総経国万  
長参質統  
少政技二  
国一理  
参協協  
長国参政経科  
長国参社専  
情員文長  
一二

総番号(TA) 26599  
70年6月1日18時20分 沖縄 発着  
70年6月2日00時44分 本省 着北1  
外務大臣殿 高瀬 (大使) 臨時代理大使 総領事 代理

準備委員会中3回会議に關する  
新聞発表文

中102号 平 大至急  
経電中101号別電

THE PREPARATORY COMMISSION 1-2 TENPI-CHO NAHA,  
OKINAWA 3 JUNE 1970.

DRAFT PRESS STATEMENT

THE PREPARATORY COMMISSION TODAY AT ITS THIRD MEETING APPROVED A PROGRESS REPORT FROM THE MEMBERS AND DIRECTED THAT THEY CONTINUE TO EXPLORE AND DEFINE PROBLEM AREAS AND BEGIN TO ESTABLISH PRIORITIES FOR DEVISING SOLUTIONS.

IN ATTENDANCE AT THE COMMISSION'S OFFICES IN NAHA WERE THE UNITED STATES REPRESENTATIVE, HIGH COMMISSIONER JAMES E. LAWRENCE THE REPRESENTATIVE

外務省

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

OF THE GOVERNMENT OF JAPAN, AMBASSADOR JIRO TAKASE AND THE ADVISER TO THE COMMISSION, MR. CHOBYO YARA CHIEF EXECUTIVE OF THE GOVERNMENT OF THE RYUKYU ISLANDS.

THE PROGRESS REPORT INCLUDED PRELIMINARY OUTLINES OF FUTURE WORK PROGRAMS.

THESE OUTLINES WERE PREPARED BY RECENTLY ESTABLISHED SUBCOMMITTEES AS PART OF THEIR INITIAL STUDY OF KEY ASPECTS OF THE PROCESS OF REVERSION OF OKINAWA TO JAPANESE ADMINISTRATION.

INDICATIVE OF SOME OF THE PROBLEM AREAS UNDER CONSIDERATION IS THE QUESTION OF THE TIMING AND THE MANNER OF TRANSFERRING AUTHORITY FOR CIVIL MATTERS FROM THE UNITED STATES CIVIL ADMINISTRATION OF THE RYUKYU ISLANDS TO THE GOVERNMENT OF JAPAN AND/MR TO THE GOVERNMENT OF THE RYUKYU ISLANDS, THE OBJECTIVE BEING IN THESE AS IN ALL OTHER ASPECTS OF THE COMMISSION'S WORK TO ASSURE A SMOOTH TRANSITION IN THE ACCOMPLISHMENT OF REVERSION.

IN THE INDUSTRIAL AND ECONOMIC AREAS, THE COMMISSION NOTED THAT AMONG OTHER POTENTIAL PROBLEMS

-2-

外務省

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

WHICH REQUIRE FURTHER EXPLORATION ARE THE TREATMENT OF FOREIGN INVESTMENT, THE FUTURE STATUS OF FOREIGN PROFESSIONAL PERSONNEL LIVING IN OKINAWA, IN THE TREATMENT OF TITLES AND LEASES OF THE FORMER STATE AND PREFECTURE OWNED LANDS.

IN KEEPING WITH THE PREFERENCE IN THE "PRINCIPLES AND GUIDELINES" TO THE COMMISSION'S CONSIDERATION OF THE LOCAL ASPECTS OF THE APPLICATION OF THE US-JAPAN SOFA (STATUS OF FORCES AGREEMENT) TO OKINAWA, THE ALTERNATES REPORTED THAT THE SUB-COMMITTEE CONCERNED WITH THIS MATTER IS UNDERTAKING A CAREFUL EXAMINATION OF PROBLEMS INVOLVED.

THE COMMISSION APPROVED THE VARIOUS PROCEDURES THAT THE ALTERNATES HAD FORMULATED FOR THE PURPOSE OF CARRYING OUT THE FOLLOWING PROVISIONS OF THE "PRINCIPLES AND GUIDELINES": COORDINATION OF THE GATHERING AND TRANSMISSION OF INFORMATION REQUIRED BY THE GOVERNMENTS DURING THE PREPARATION OF REVERSION, AND THE ESTABLISHMENT OF A READY MEANS OF ACCESS TO THE GOJ BY NON-RYUKYUAN RESIDENTS OF OKINAWA WITH REVERSION-RELATED PROBLEMS.

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

SPECIALLY DESIGNATED OFFICIALS IN THE RESPECTIVE ELEMENTS OF THE PREPARATORY COMMISSION HAVE BEEN APPOINTED FOR THESE PURPOSES.

THE PREPARATORY COMMISSION CONSIDERED THE WORK OF THE ALTERNATES AND THEIR STAFFS, AS REFLECTED IN THE REPORT, A NOTEWORTHY BEGINNING TOWARD FINDING SOLUTIONS TO THE PROBLEMS BEFORE THE COMMISSION.

新聞発表

1970年6月3日

1. 準備委員会は本日十八の同委員会庁舎においてアメリカ合衆国政府代表ジョージ・ランバート高野舟務留日本国政府代表高瀬博野大使及び顧問の島屋良雄琉球政府行政主席の出席のもとに第3回会議を行った。本委員会は代理会議より提出された進行状況に関する報告を承認し更に問題の所在を

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

調査して明確にする作業を続けると共に、  
 解決方法策定に当たっての優先順位を定める  
 作業を開始するよう指示した。

3. 進行状況報告書は将来の作業計画のあら  
 ましを含むものである、これらの計画のあら  
 ましは、最近設置された委員会が沖縄の日  
 本施政権下への復帰の過程における重要分  
 野ごとに一段階の作業として検討した結  
 果の一部をまとめたものである。検討中の問  
 題のある分野には民政に関する権限を米國  
 民政府から日本國政府及びまたは琉球政府  
 へ移乗する時期と方法の問題があり、その目  
 標は他のすべての分野における委員会の<sup>作業</sup>目  
 標と同じく復帰達成への円滑な進行を確保  
 する事にある。

4. 委員会は産業経済の分野において将来

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

更に調整する必要性へのある問題の中には  
 外資の取扱い、沖縄に在住する外国人自由  
 職業従事者の将来の地位及び旧國所有地の  
 取扱い問題等が考えられる旨指摘した。

5. 代理会議は「原則と指針」が地位協定を沖  
 縄に提供する際の現地における側面を委員  
 会が考慮すべき事と言及していることに関  
 連し関係小委員会がその中に含まれるもろ  
 もろの問題について慎重な検討を待って  
 る旨報告した。

6. 委員会は「原則と指針」に示された次の条項  
 を実施する為代理会議が定められた各種の手続  
 きを承認した。すなわち復帰準備中において  
 各政府の必要とする資料の収集及び伝達  
 の調整及び非琉球人居住者が復帰に関連して  
 問題について日本國政府と接融する為の詳

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

備体制の確立である。これらの目的の爲委員会  
の各政府代表部の取員が特別に指名され  
る。

7. 準備委員会は報告書に反映されている代  
理会議及びその要員の作業は委員会が当面  
する問題の解決方法の発見を目ざし、最初  
の特筆すべき作業であることをみなして  
る。

(3)

(07:20 主管課 多田首席書記官に連絡済)

電信課





ソカヒ 万大 傳販

政事外外政官  
務務 典房  
次次  
至官官審審長長  
備備入入計  
備備文文会会管管  
給給

国資参調析企  
長長 参領旅移  
領領 参領旅移  
長長

ア 参地中東  
長 北 東 西  
米 参北非保  
長 中 南 密 歐  
参西東洋  
長 西 東

近ア参書近ア  
長 次総経国万  
長 参資統 國  
長 参政技二  
長 参政経科  
長 参社時  
長 参迎内外  
長 文長

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

259

総 番 号 (T A) 26600 主 管  
 70 年 月 日 19時 55分 沖 縄 発 着  
 70 年 6月 2日 01時 26分 本 省 着 半北1

外 務 大 臣 殿 高瀬大使 臨時代理大使 総領事 代理

第3回代表会議準備

第104号 平(秘扱) 大至急

往電第91号及び同第103号に関し

1日のアドホックの代理会議において種々協議の結果、  
 (1)代理会議の報告書(不公表)の付表B(産業経済小  
 委)には米側非公式提案の14項目(往電第72号)と日  
 本側の考えているもののうち貴電第55号の「ふるい」に  
 かけたものをリスト・アップすること、付表C(施政権小  
 委)にはGRIの3項目提案(往電第73号)も一応へい  
 記するととし、これらの付表はいずれも合意したものを  
 示すものにはあらずして、単にあらい出し作業の結果出さ  
 れたものをREFERENCEの意味あいで列挙したもの  
 にすぎず、今後の加除追加があり得る性質のものとするこ  
 ととした(この点を明らかにするため、報告書第5項の末  
 びにTHE ALTERNATES INTEND TO  
 CLARIFY以下の表現をそう入した点参照ありたい  
 )、(2)上記の関連でGRI側は新たに付表Dを設け、  
 SOFA小委でGRIが提示したもののうち復元賠償、人  
 的損害賠償、軍用用制度の3項目は上記(1)と同じ了便

外 務 省

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

の下にこの表に列挙することを強く主張したもので、当方  
 としては貴電第55号のラインもかん察しつつGRIの機  
 微なる内部事情も考慮に入れ(セナカはこれらを単に列挙  
 しておけば、たとえ合意された項目とはみなされずとも、  
 米側はこれに満足し、第3回会議でも特にメーク・イシュー  
 一することはなかるべく、またその方向で自今努力する  
 と述べた趣)、これに添うよう米側に申し入れている。  
 (3)プレス。ステートメント第4項に例示すべき産業経  
 済小委のアイテムとしては、往電第55号によって整理を  
 行なった結果、差支えないものとするもの(イ)外貨の  
 取扱い、(ロ)非りゆうきゆう人プロフェッショナルズの  
 取扱い、(ハ)國、けん有地の問題の3点を当方より示さ  
 し、米、りゆう側もこれに同意した。なお、本省より電話  
 連絡のあつたTREATMENT OF PUBLIC  
 UTILITIESについては、米、りゆう側に申し入れ、  
 結果追電致したい。

(07:20 主管 高瀬 多田 節 幸 等 中 運 務 係)

電 信 係

外 務 省

ソト、  
シ、  
、  
万大  
博取

大政事外外役官  
務務 典房  
次次 密密 長長  
官官 密密 長長  
機機 密密 長長  
機機 密密 長長  
機機 密密 長長

国資長  
領移長  
参調折企  
参領旅移

ア 参地中東  
長 北東西  
北北  
中南  
歐 参一  
長 西東  
西東

近ア 参書近ア  
長 次総経国万  
長 参質統  
長 参政技二  
長 参協長  
長 参参協  
長 参政経科  
長 参社専  
長 参道内外  
文長 一二

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

83

総番号 (T A) 26749  
 70年 6月 2日 16時 35分 沖 縄 発  
 70年 6月 2日 17時 42分 本 省 着 米北

外務大臣殿 高瀬  大使 臨時代理大使 総領事 代理

プレス ステートメント 列挙項目

オ108号 平 至急

往電オ104号に同じ

1. プレス ステートメント オ4節に産業経済小委のアイテムの例示として TREATMENT OF PUBLIC UTILITIES を加えることは米側として買取り交渉が正に始まろうとする現在、また、MOF の諸調査団の予備調査が近く再び行なわれようとしている際でもあり、タイミングとして頗るデリケートなりとして強い難色を示しているのでオ4節における列挙は「外資の取扱い」と「FOREIGN PROFESSIONALS の取扱い」を一本に纏めたものと「国、固有地」の二つと

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

するよう取計らうこととしたので右御了承  
ありたい。

(了)

万大  
博販

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政事外外務省  
事務 典房  
次官 事務長  
長官 事務長  
長官 事務長  
長官 事務長  
長官 事務長

参調析企  
参領旅移

ア 参地中東  
長 北東西  
参北北保  
中 参一二  
参西東祥  
長 西東三

近 参書近ア  
長 次総経国万  
長 参質統国  
長 参政技二  
長 参政協組  
長 参政経科  
長 参社専  
長 参道内外  
一 二

総番号(TA) 27044 主管  
70年6月3日17時53分 中 糸 発着  
70年6月3日21時13分 本 省 着 米北

外務大臣殿 高瀬(大) 臨時代理大使 総領事 代理

第3回準備委員会

第109号(秘) (秘) (秘)

1. 第3回準備委員会はランポート高等弁務官議事進行を担当し本日午後3時より約30分に亘り開催代理会議の報告につくすル左下記諸点につき「ラ」より承認を求め本使、屋良ともこれに同意した。

記

- (1) 共通聖書の見直し
- (2) 予算原則(会計期及び開始期)の一部変更。

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

(3) 産業経済施政権移転、地位協定  
各小委員会作成のリストは流動的な  
ものであり加除訂正し得ることにつ  
いての代理会議の権限。

(4) 代理による共同記者会見の実施

(5) 日米協議委員会への経過報告と本日  
の会議内容の報告

(6) 新聞発表文

2. 「ラ」より次回会合日を7月1日とするこ  
とに付いて固つたところ屋良より日程の都  
合で本日決定しかねるとの申出あり主  
席よりの詳細通報を俟って後日決定  
することと合意した。

3. 「ラ」より新聞記者会見はあり特

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

秘

留意すべき点ありやと質したので本使より地位協定の委員会リストに載せられた(1)解放軍用地の復元補償、(2)軍隊軍人軍属による損害補償(3)軍備制度の移行準備の点についは同委員会に未だ充分な資料が準備されるからこの点で記者団に対し上記の点を絶対にはっきりせよと要望し、これに提言し「これは同感ありと述べた。地方屋良は上記の点は中絶住民にとって極めて関心の深い問題なることを含んで欲しい旨発言があり本使よりもしっかりと回答しておいた。

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

秘

4. 本使より本会議の席を借り新任の要員も各委員に紹介し「ラ」よりは BURKE (軍備備員再就職調整官) を米側要員として再任した旨明らかにした。131

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

102

大蔵省 外務省  
参事 典房  
参事 次房  
参事 長官  
参事 総務  
参事 文書  
参事 庶務  
参事 庶務  
参事 庶務

参事 参調研企  
参事 参領旅移

参事 参地中東  
参事 参北東西  
参事 参北北保  
参事 参一二  
参事 参西東洋  
参事 参西東

参事 参近ア  
参事 参総経日万  
参事 参貨統  
参事 参政技二  
参事 参一理  
参事 参参協保  
参事 参政経科  
参事 参社専  
参事 参参内外  
参事 参一二

電信写

送番号 (Z.A) 27043 主管  
70年6月3日 18時12分 津 繩 発 米北  
70年6月3日 21時11分 本 省 着 米北

外務大臣 高瀬 天 臨時代理大使 総領事 代理

代表代理記者会見

第110号 平 至急

往電第109号に関し

代表会議後行なわれた代理による記者会見においては、記者団より主として準備委の進行状況につきプレス・ステートメント以上の詳細なる説明を求める質問が多く寄せられたが、当方より各小委員会はいきなり問題点のあらい出しの作業を進めており、ステートメントに明示されている如き民政府機能の移行や外資問題その他の項目のみをとつても何れもFAB-BRANCHINGなる問題であり、今後更に具体的な作業計画の策定を期し得る見込みであることを察するべく説明しておいた。なお、セマカ代理は質問に答えにくい事裁判 債権の問題はリウ政顧問代理部において以前より一般問題として研究を進めており、今後準備委に提出するときの可能性もあり得べしと述べた。なお、外資問題につきNEW APPLICATIONSと準備委の間違に於ける如き質問は提起されなかつた。(1)

多田 局長  
多田 事務官  
多田 北米第一課長

アメリカ局長  
事務官  
北米第一課長

秘密標記 (赤色)

第 33 号

昭和 45 年 6 月 4 日

外務大臣 殿

在 準備委代表事務所  
高瀬 代



(件名) 第三回復帰準備委員会討議資料

引用公・電信 日付・番号

6月3日開催の沖縄復帰準備委員会第三回  
会議に上程された下記資料英和文各3部別

検印と封筒、一括送付申す。検査収印を。  
付属添付  付属空便 (行)  付属空便 (DP)  付属船便 (貨)  付属船便 (郵)

本信送付先：  
本信写送付先：  
配付送：

- |       |
|-------|
| 要処理   |
| 首席事務官 |
| 南     |
| 渉外調査  |
| 業     |
| 船空    |
| 協力    |
| 連絡調整  |
| 調査    |
| 力子夕   |
| 注意    |



GA-3-1

127 在外公館

尚上記資料3部の計1部は総務課宛にて送付  
550724 西沢 敬 夫 氏

記

- (1) 準備委員会に対処代理会議の報告
- (2) 昭和45年4月1日からの昭和46年3月31日まで  
期間にかゝる準備委員会の運営に要する共通経費  
の見積り及び分担 (別表A)
- (3) 産業経済小委員会の検討事項 (別表B)
- (4) 施政権移転処理地小委員会の検討事項  
(別表C)
- (5) 地位核定沖縄適用現地小委員会の検討  
事項 (別表D)
- (6) 新聞発表文

GA-4

外務省



ソトヒ 万大 博阪

大政 務次 典房  
臣官 官審 審長 長  
統 統人 厚計  
儀 文 文 會 營 給  
資 資

国 参 調 折 企  
資 長 領 移 長  
長 領 移 長

ア 参 地 中 東  
長 米 北 北 西  
長 中 南 番 歐 長  
参 西 東 洋  
参 西 東

ア 参 近 近  
長 次 總 經 國 万  
長 参 資 統 國  
長 参 政 技 二 國 一 理  
長 参 参 協 協 長 條  
長 参 政 經 科  
長 参 社 專  
長 参 道 内 外  
長 文 長 一 二

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

625

総番号(TA) 3/7/2  
70年6月26日 9時10分 沖 港 発 主 管  
70年6月26日 2時19分 本 省 着 米 北 1

外務大臣殿 高 野 大 使 臨時代理大使 総領事 代理

第4回代表会議準備状況

第162号 略 至急

26日現在の次回代表会議開催準備状況概ね下記の通り。

1. 米側に対しGRIは、特にSOPA小委及び産経小委において東京における外交交渉とへい行してローカリーに審議を進めるべき項目を代表会議に対する報告書にリストアップすることを強くしようようしているに対し、米側は、6月10日のフィールド・ミーティング以来その立場をよりソフトなものとし、外交交渉の課題として多かれ少なかれ考慮され得るものはWITH OFFするとの態度を示し、例えばSOPA小委については、GRIも同意済のわが方提案（対照表）のみが今回のリスト・アップになじむとの考え方である。

2. 26日に至り、セナガは一種の妥協案としてGRIアイテムは再整理はして見るが一応全部リスト・アップし、そのうち外交交渉の問題として分類され得べきものにはマークを付して区別するという考え方を示さし、ショットも一たんこれを東京に取継いだ模様であるが、26日午前の

外務省

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

ショットのヨシオカに対する連絡では、米側はかかる妥協案も受入れ難いと考えていると判断される。

3. 以上のような経緯にかんがみ、

→ 今朝の報

告書は簡けつなものとし、SOPAではGOJの上願提案が行なわれたこと（付表にその全文を掲げる）施政権小委においては、「財政的うら付けのあるUSGプロジェクトの引継ぎの問題を同小委において一たん整理の上、おきなわ事務局、USCAR計画局、GRI企画局の3者審議に委ねることを合意すること」（出来れば付表に米側新提案を掲げることが望ましいが間に合わざる見込み）産経小委についてはいわゆる日米ゆりゆりそれぞれのリストのうちの一応の共通項目（往電第159号1.のわが方提示リストが実質上これに当る）につき、更に各項目のローカル・アスペクトを審議する旨を明示するなどの工夫を加えることにより、何とか米側をアコモデートして付表として掲げることと同意させること等を主体とし、あとは公使着任、サダの合同事務局長任命等を記述するに止めるという如き内容で取りまとめを計つては如何かと存ぜられる。

4. 米側内部には、何れにせよ記者会見は今回は省略することが合意されていること、また報告書内容が経過的であることにかんがみ、今回はプレスリリースも特に発出する

—ス—

外務省



秘

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

に及ばずとの感触もある。

5. 27日の代理会議において上記諸点を更にレビューする予定。

6. なわ、わが方としてはセナガの妥協案は一つのアプローチとしては支持し得べきも、同時に米側としてはいざ考えて見ると今の段階で諸種「雑多なGRI」アイテムを明確に外交交渉の項目としていちいち紙の上で明示的にインディケートし得るほどに準備が整っているわけでもないといふ実状もあり得べく、従つて上記GRI説得に当つては<sup>(3)のラインによる取扱いを目的とする</sup>たとえば「SOFA、産経小委に提示されたGRIアイテムは、日米双方でもPROPER CHANNELを通じ検討のためトランスミットされている」という趣意の一般的なステートメントを報告書にそう入しおくという程度の配慮で推移し得ざるやGRIに働きかけて見ることも一案と考えられる。

(3)

— 3 —

万大  
博阪

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

197

大政(外)官  
事務典房  
次官審審長長  
備総厚計  
備書文会営給

国債長  
領移長  
参調折企  
参領旅移

ア 参地中東  
長 北西  
参北北保  
中南審  
参西東洋  
長 西東

近ア  
参審近ア  
次総経国万

長 参質統  
参政技二  
国一運

参条協制  
長 参政経科  
国 軍社專  
参通内外  
長 文長  
一二

総番号(TA) 3190  
70年6月27日17時20分 沖 縄 発 米北/  
70年6月27日21時08分 本 省 着

主管

外務大臣殿 高瀬 大使 臨時代理大使 総領事 代理

代理会議

第165号 略 至急

往電第162号に関し

1. 27日の代理会議においてはセナガより、特にPRO  
PCOMの検討可能アイテムに関する現在における米側の  
考え方については失望の念を禁じ得ず、GRI内部特に主  
席との調整に時間を要することは必至であるので、かくて  
は7月/日の代表会議の開催を1週次延長することを提案  
すると述べた。ショットより弁務官の都合を確認する要あ  
るも延期には異存なき旨を述べ、ヨシオカよりは予定通り  
開催し得るよう努力すべきものと思われるも、延期の意思  
表示ありたることは然るべく内部で検討したいと述べてお  
いた。

2. 代理会議に提示された報告書(第一次草案を国会小委  
メンバーがノン・コミタルベースで作成したもの)別電  
第166号の通り。(なお、TAB Aは、産経委の14項  
目(前回代表会議報告書の付表参照)のうち米側として外  
交交渉の問題として分類されるものを除いたもの、TAB-

外務省

直の1  
特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

Bは前回の「民政府の機能の処理」に関する付表と同一の  
もの)

(了)

- 2 -

外務省

ソカ  
ヒ  
万大  
博阪

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

9/2

大政事外外職官

務務 典房  
次次  
臣官直審察長長  
歳総人 厚計  
信書文会営給  
資

電信写

総番号(TA) 31944  
70年6月27日17時35分 沖 逸 発 着 米北1  
70年6月28日01時10分 本 省 着 米北1  
外務大臣殿 高瀬 大使 臨時代理大使 総領事 代理

国  
資 参調析企  
長 参領旅移  
領 移 長

代理会議報告番号1次案

才166号 年 至 迄  
経電才161号別電  
(以下別紙英文9と行り。)

ア 参地中東  
長 北 東 西  
参北北保  
中南審  
欧 参西東洋  
長 西 東

近ア 参審近ア  
長 次総経国万  
経 参質統 国  
長 参政技二  
経協長 国一理  
参 参参協規  
長 参政経科  
国 参政経科  
長 軍社専  
情長 参道内外  
文長 一二

大  
十  
林

REPORT TO THE PREPARATORY COMMISSION  
FROM THE ALTERNATES 1. THE USG AND GRI ALTERNATES  
SUGGEST TO THE COMMISSION THAT AMBASSADOR TAKASE  
FORMALLY INTRODUCE THEIR NEW COLLEAGUE, GOJ  
ALTERNATE REPRESENTATIVE, MINISTER ICHIRO  
YOSHIOKA. 2. THE USG AND GRI ALTERNATES  
ALSO WISH TO  
BRING TO THE ATTENTION OF THE COMMISSION  
THEIR APPRECIATION FOR THE CONTRIBUTION MADE  
BY MR. KAYA DURING HIS PERIOD OF SERVICE AS  
ACTING GOJ ALTERNATE FROM THE BEGINNING OF  
THE COMMISSION ON 24 MARCH UNTIL THE ARRIVAL  
OF MINISTER YOSHIOKA IN JUNE. THE COMMISSION  
WAS ABLE TO FUNCTION EFFECTIVELY AT  
THE ALTERNATE LEVEL AS A RESULT OF MR.  
KAYA'S VALUABLE ASSISTANCE. 3. AT ITS 6 MAY  
1970 MEETING, THE COMMISSION APPROVED MISS  
SATA AS THE INDIVIDUAL TO SUPERVISE THE  
ADMINISTRATIVE BUSINESS AND THE WORK OF THE  
PERSONNEL WHO COMPRISE THE JOINT SECRETARIAT.  
THE ALTERNATES BELIEVE THAT MISS SATA, WHO HAS  
CARRIED OUT THESE SUPERVISORY FUNCTIONS

IN ADCOM AND IN THE COMMISSION SINCE DECEMBER  
1969, NOW DESERVES TO BE GIVEN THE OFFICIAL  
TITLE OF DIRECTOR OF THE JOINT SECRETARIAT.  
THEY INVITE THE COMMISSION TO APPROVE THIS TITLE  
FOR MISS SATA. 4. AT THE 3 JUNE 1970 MEETING,  
THE ALTERNATES PRESENTED TO  
THE COMMISSION THREE LISTS OF PROBLEM AREAS THAT  
HAD BEEN APODUCED BY THE SUBCOMMITTEES WITHOUT  
COMMITMENT BY ANY OF THE GOVERNMENTS. THE  
ALTERNATES STATED THEIR INTENT TO FURTHER CLARIFY  
REFINE, AND EXPAND THESE LISTS, TO OMIT FROM  
THEM ANY ITEMS NOT WITHIN THE PURVIEW OF THE  
COMMISSION, AND TO COMPILE  
ADDITIONAL LISTS. THE COMMISSION APPROVED THIS  
PROCEDURE. AS A RESULT THE LISTS HAVE BEEN  
PRUNED TO THOSE INCLUDED AT TAB'S A AND B.  
ITEMS THAT HAVE BEEN DELETED MAY REAPPEAR AT  
A LATER DATE IN KEEPING WITH THE PROGRESS OF  
DIPLOMATIC NEGOTIATIONS AND INSTRUCTIONS FROM  
THE TWO NEGOTIATING GOVERNMENTS. THE  
ALTERNATES INVITE THE COMMISSION TO APPROVE  
THESE LISTS FOR FURTHER STUDY AND TO APPROVE

THE PREPARATION OF ADDITIONAL LISTS OF REVERSION ITEMS WITHIN THE COMMISSION'S AREA OF COMPETENCE AS SET FORTH IN THE "PRINCIPLES AND GUIDELINES." 5. IN THE REPORT SUBMITTED AT THE 3 JUNE MEETING, THE ALTERNATES AFFIRMED THAT PROCEDURES HAD BEEN COMPLETED FOR THE COMMISSION TO CARRY OUT VARIOUS FUNCTIONS RELATIVE TO THE COORDINATION OF GOJ STUDY MISSIONS TO THE RYUKYUS AS WELL AS FOR OFFICIAL GOJ REQUESTS FOR INFORMATION. THE ALTERNATES ARE PLEASED TO REPORT THAT THE ESTABLISHED PROCEDURES HAVE BEEN FUNCTIONING SATISFACTORILY IN THE MANNER INTENDED. A RECENT AND CONSPICUOUS EXAMPLE IS A PENDING REQUEST IN THE FORM OF A QUESTIONNAIRE FROM THE GOJ TO AMERICAN AND OTHER NON-RYUKYUAN BUSINESSMEN. THE COMMISSION WILL RECEIVE THE QUESTIONNAIRE, DISTRIBUTE IT THROUGH CHANNELS TO THE APPROPRIATE BUSINESSMEN, AND THEN RETURN THE COMPLETED COPIES OF THE QUESTIONNAIRE TO THE GOJ ELEMENT OF THE COMMISSION FOR FORWARDING TO TOKYO. 6. THE ALTERNATES WOULD ALSO LIKE TO

BRING TO THE ATTENTION OF THE COMMISSION A NEW FUNCTION THAT THE THREE GOVERNMENTS INVOLVED HAVE AGREED IT SHOULD PERFORM. THIS NEW FUNCTION CONCERNS ONE STAGE IN THE PROCESSING OF APPLICATIONS BY FOREIGN INVESTORS TO THE FOREIGN INVESTMENT BOARD. THE GRI WILL MAKE AVAILABLE TO THE GOJ AND USG MEMBERS OF THE COMMISSION COPIES OF ALL NEW, SIGNIFICANT APPLICATIONS FROM FOREIGN INVESTORS TO THE FOREIGN INVESTMENT BOARD. IN THE EVENT THE GOJ WISHES TO PROVIDE WRITTEN COMMENT TO THE GRI ON THESE APPLICATIONS, THE COMMISSION WILL ACT AS THE CHANNEL FOR PASSING COPIES TO THE GRI ALTERNATE ADVISER AND TO THE U S ALTERNATE REPRESENTATIVE. THE ALTERNATES ARE PREPARED TO ESTABLISH THE NECESSARY MACHINERY TO CARRY OUT THIS NEW FUNCTION. THE APPROVAL BY THE COMMISSION OF THIS NEW FUNCTION AND THE AUTHORIZATION TO THE ALTERNATES TO ESTABLISH THE NECESSARY COORDINATING MACHINERY IS INVITED. 7. THE LIST IN THE 3 JUNE 1970 REPORT TO THE PREPARATORY COMMISSION

FROM THE ALTERNATES, TENTATIVELY IDENTIFIED AS BEING PRIMARILY WITHIN THE JURISDICTION OF THE SUBCOMMITTEE ON LOCAL PREPARATIONS FOR TRANSFER OF ADMINISTRATIVE RIGHTS, HAS REMAINED UNCHANGED AND IS AT

TAB B. HOWEVER, THE ALTERNATES RECOMMEND THAT, AFTER THEY STUDY AND REACH AGREEMENT ON WHICH ITEMS LISTED AT LA - LJ IN THE TAB HAVE FINANCIAL IMPLICATIONS, THEY BE PERMITTED TO TRANSFER THESE ITEMS FROM THE COMMISSION TO THE USCAR COMPTROLLER DEPARTMENT, THE GRI PLANNING DEPARTMENT, AND OBONTA FOR FURTHER CONSIDERATION AND SUBSEQUENT REPORT BACK TO THE ALTERNATES. THE COMMISSION IS INVITED TO APPROVE THE PROPOSED STUDY AND TEMPORARY TRANSFER OF THESE ITEMS. 8. THE US SIDE HAS BEEN WORKING ON A PLAN FOR MORE COMPREHENSIVE APPROACH TO THE TRANSFER OF ADMINISTRATIVE RIGHTS. THE ALTERNATES PROPOSE THAT WHEN THIS PLAN HAS BEEN RECEIVED BY THEM IT WILL BE STUDIED AND ASSIGNMENTS WILL BE MADE TO THE APPROPRIATE

5

SUBCOMMITTEES FOR FURTHER ACTIONS IN KEEPING WITH ESTABLISHED PROCEDURES. THE COMMISSION IS INVITED TO APPROVE THIS PROPOSED ACTION. 9. CURRENTLY BEFORE THE SUBCOMMITTEE ON LOCAL PREPARATIONS TO FACILITATE APPLICATION TO OKINAWA OF SOFA (HEREINAFTER " SOFA SUBCOMMITTEE " ) IS A PAPER ON " REVIEW OF PROCLAMATIONS AND ORDINANCES FOR APPLICATION OF SOFA TO OKINAWA." THIS PAPER IS AT TAB C. THE ALTERNATES RECOMMEND THAT THE SOFA SUBCOMMITTEE CONDUCT THE PROPOSED REVIEW TO DETERMINE WHICH PARTS, IF ANY, SHOULD BE CONSIDERED FOR POSSIBLE MODIFICATION BEFORE REVERSION, IN THE INTEREST OF HELPING TO PROVIDE FOR A SMOOTH TRANSITION OF THE APPLICATION OF SOFA TO OKINAWA. THE ALTERNATES INVITE THE COMMISSION TO APPROVE SUCH REVIEW. 10. TO RESPOND TO THE REQUEST OF THE CONSULTATIVE COMMITTEE TO BE KEPT INFORMED OF THE PROGRESS OF THE COMMISSION FROM TIME TO TIME, THE ALTERNATES RECOMMEND THAT A COPY OF THIS REPORT, UNDER THE TITLE OF " REPORT TO THE CONSULTATIVE COMMITTEE FROM

6

THE PREPARATORY COMMISSION, " BE  
FORWARDED THROUGH PROPER CHANNELS TO CONCOM  
TOGETHER WITH AN INDICATION OF THE ACTION TAKEN  
ON IT BY THE COMMISSION AT THE 1  
JULY MEETING.

(7)

7

大 外 務 省

注 意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられない。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

108

電 信 写

大 外 務 省  
 次 長  
 官 房 長  
 機 務 課 長  
 給 出 課 長  
 電 信 課 長

総 番 号 (T A) 3197/  
 70 年 6 月 28 日 09 時 50 分 沖 縄 発 北  
 70 年 6 月 28 日 13 時 50 分 本 省 着

主 管

参 照 企  
 参 照 旅 移

外 務 大 臣 殿 高 瀬 大 使 臨 時 代 理 大 使 総 領 事 代 理

( 代 理 会 議 報 告 書 才 1 次 案 )

ア 参 照 中 東  
 長 北 東 西  
 参 照 北 保  
 参 照 一 二  
 参 照 西 東 洋  
 西 東

号 外 平 至 急

往 電 才 166 号 本 文 末 尾 「 AT THE 1 JULY MEETING. 」 の 次 に 以 下 の 英 文 を 追 加 あり たい。

以 下 別 紙 英 文

近 了 参 照 近 ア  
 参 照 次 総 経 国 万  
 参 照 参 照 統 国  
 参 照 参 照 技 二  
 参 照 参 照 一 理  
 参 照 参 照 協 規  
 参 照 参 照 政 経 科  
 参 照 参 照 軍 社 専  
 参 照 参 照 内 外  
 参 照 一 二

才 166



TAB-A

PROBLEM AREAS FOR SUBCOMMITTEE FOR INDUSTRIAL AND  
ECONOMIC AFFAIRS

1. ADMINISTRATION OF FINANCIAL INSTITUTIONS ( INSPECTION,  
REGULATORY CONTROLS, ETC. ) .
2. REQUIREMENTS OF ECONOMIC DEVELOPMENT ( INFRASTRUCTURE,  
INVESTMENT INCENTIVES, ETC. ) .
3. <sup>ITTAIKA</sup>~~ITTAIKA~~ OF TAXATION SYSTEM.
4. REQUIREMENT AND FEASIBILITY OF " TRANSITION PERIOD"  
( PLANNING AND IMPLEMENTATION MEASURES ) .
5. ADMINISTRATION OF POL ( SALES, DISTRIBUTION, ETC. ) .
6. APPLICATION OF INDUSTRIAL SAFETY AND POLLUTION REGULATIONS.
7. REVIEW OF U S AND GOJ ASSISTANCE  
PROGRAMS ( MAGNITUDE AND COMPOSITION OF AID PROGRAMS, BUDGET  
DEFICITS, ETC. ) .

(3)

万大  
博飯

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

317

大政(外)外(官)官  
 務次 典房  
 臣官官審審長長  
 機総人認厚計  
 備書文会営給

国資長 参調折企  
 長 参領旅移  
 移 長

ア 参地中東  
 長 北二西  
 米 参北北保  
 中 参一二  
 南 参西東洋  
 欧 参西東  
 長

近ア 参参近ア  
 長 次総経国万  
 長 参實統三  
 長 参政技二  
 長 参政経科  
 長 参道内外  
 長 参道内外  
 長 参道内外  
 長 参道内外

総番号(TA) 31905 主管  
 70年6月27日17時25分 沖 絶 発 米北/  
 70年6月27日20時58分 本 省 着

外務大臣殿 高瀬 大 臨時代理大使 総領事 代理

第4回代表会議準備

第167号 略 至急

往電第165号に關し

1. セナカは、代理会議終了後ヨシオカに対し、「本日の席上米側の考え方につき失望するという一般的な表現を用いたがGRIとして現時点で最もとんわくしていることは、前回の代理会議報告書のTAB-Cの複元補償等3項目が米側の言ひ加除修正作業の結果Fロツプされるということが今回の報告書草案で表現されていることとであり、別電第166号第4項第4節参照)かくてはGRI内部、特に主席の了解を得ることはむづかしく、何れにせよ調整に時間を要することは必ずて延期が必要と判断した次第であり、自分の見通しでは、かかる事態となれば主席は準備委の価値そのものが失なわれるとまで判断する公算があると思う」と述べた趣。なお、上記報告書第4項第1節及び第2節の外資処理関係の準備委の新機能の記述については、GRIとしては日米りゆうの3者の正式了解が既に確保されていることを前提条件として特に異存がない旨付言せる由。

外務省

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

2. わが方としては前記1. のGRIの立場をかんあんし、次週早々米側の納得も得ることを配慮した関連部分の案文を作成し、取りまとめをはかりたいと考えている。なお、別電第166号TAB-Aの産経委のリストについても特に米側との調整を進め、これら諸点についての結果追電する。

3. なお、GRIカキノヘナによれば、SOFA小委に提示されたGRIの諸種雑多のアイテムを今回の報告書においてリスト・アップすべしという考え方については、そのうち若干のものが選別的にのせられるのであれば十分であり、GRIのポイントとしては第2義なものとなっている由。

(了)

(2. 脱落につき照会中 電信課)

-2-

外務省

REVIEW OF PROCLAMATIONS AND ORDINANCES IN RELATION TO  
APPLICATION OF SOFA TO OKINAWA

1. Military Facilities

- a. Custodian of Property (Navy Military Government Proc No. 7, 1945)  
Property Custodian (MG Dir No. 19, 1948)
- b. Compensation for Use of Real Estate Within Military Areas  
(CA Proc No. 26, 1953)
- c. Authority to Accomplish Execution of Leases and Rental Payment on  
Privately Owned Ryukyuan Lands Occupied by the United States of America  
for the Period from 1 July 1950 through 27 April 1952 (CA Ord No. 105,  
1953)
- d. Procedure for Payment of Compensation for Land Acquisition (CA Ord  
No. 110, 1953)
- e. Compensation for Use of Real Estate Within Military Areas (CA Ord No.  
120, 1953)
- f. Registration of Lands Known as Municipal Land Unsubdivided (CA Ord  
No. 146, 1955)
- g. United States Land Acquisition Program (CA Ord No. 164, 1957)
- h. Authority to Enter Upon Lands for Investigation and/or Survey Purposes  
(CA Ord No. 171, 1957)
- i. Acquisition of Interim Leasehold Interests (HICOM Ord No. 18, 1959)
- j. Acquisition of Leasehold Interest (HICOM Ord No. 20, 1959)
- k. Establishment of the United States Land Tribunal for the Ryukyu Islands  
(HICOM Ord No. 19, 1959)  
  
The United States Land Tribunal for the Ryukyu Islands (GO No. 4, 1959)  
  
The United States Land Tribunal for the Ryukyu Islands (LO, 1959)
- l. Registration and/or Entry Regulations in Regard to Land in Which the  
United States Holds or Acquires an Interest (CA Dir No. 3, 1959)

- m. Management of Prefectural and Japanese State Forest Land (HICOM Dir  
No. 2, 1962)

2. Indirect Employment System

- a. Labor Relations and Labor Standards Concerning Ryukyuan Employees  
(CA Ord No. 116, 1953)

3. Treatment of Public Utilities

- a. Establishment of the Ryukyuan Domestic Water Corporation (HICOM Ord  
No. 8, 1958)
- b. Establishment of the Ryukyuan Electric Power Corporation (CA Ord No.  
129, 1954)

4. Judicial Jurisdiction and Other Matters

- a. Executive Order 10713 Providing for Administration of the Ryukyu  
Islands, 1957  
  
# The Order: Sections 1, 2 and 10; SOFA Article 3 and 17 10
- b. United States Civil Administration Appellate Court (CA Proc No. 6, 1958)  
  
# SOFA: Article 18, 9 and 10 and Article 14 8  
  
United States Civil Administration Appellate Court (HICOM Ord No. 6,  
1958)  
  
United States Civil Administration Criminal Courts (CA Proc No. 8, 1958)  
  
United States Civil Administration Civil Court (CA Proc No. 9, 1958)  
  
Civil Jurisdiction of Ryukyuan Court Systems (CA Ord No. 58, 1952)  
  
Executive Order 10713 Providing for the Administration of the Ryukyu  
Islands, 1957  
  
# The Order: Section 11
- b. Code of Penal Law and Procedure (CA Ord 144, 1955)  
  
# The Ordinance: Part 1, and Part 2 Chapters 2 and 6; SOFA:  
Article 17

- c. Control of Entry and Exit of Individuals into and from the Ryukyu Islands (CA Ord No. 125)
  - # The Ordinance: Section IV 10; SOFA: Article 5, Article 9 and Article 14 3 (a) (b)
- d. Executive Order 11326 Providing for Air Transportation in the Ryukyu Islands, 1967
  - # The Order: Section 6
- e. Air Transportation in the Ryukyu Islands (HICOM Ord No. 62, 1967)
  - # The Ordinance: Chapter II 2-1; SOFA: Article 5 1 and 2, Article 6
- f. Entry and Exit of Non-Ryukyuan Surface Vessels (CA Ord No. 131, 1954)
  - # The Ordinance: 1, General; SOFA: Article 5
- g. Communications (CA Ord No. 128, 1954)
  - # The Ordinance: Article I.; SOFA: Articles 6, 8 and 21
- h. Payment of Tax on Private Vehicles for Use of Highways (CA Ord 126, 1954)
  - # SOFA: Article 10, Article 13 3 and Article 14 6
- i. Ryukyuan Income Taxes (CA Ord 114, 1953)
  - # The Ordinance: - Section 1, Section 2 a. c. and Section 3; SOFA: Article 13 and Article 14 6 and 7
- j. Power of Apprehension of Ryukyuan Civil Police (CA Ord No. 87, 1952)
  - # SOFA: Article 17 5 (a) (b), 6 and 7
- k. Settlement of Ryukyuan Pretreaty Claims (HICOM Ord No. 60, 1967)
  - # SOFA: Article 8 5, 6, 7 and 8
- l. Foreign Trade in the Ryukyu Islands (HICOM Ord No. 12, 1958)
  - # SOFA: Article 19 and Article 14 3 (e)
- m. Currency (HICOM Ord No. 14, 1958)
  - # SOFA: Article 20 and Article 14 3 (f)

ソカセ 万大 防医

大政電外保備官  
務務 典房  
次次  
臣官官審審長長  
機総入原計

儀審文法管給

国資長領移長  
参調析企  
参領旅移

ア 参地中東  
長 米 北 西  
参北北保  
中南  
参西東洋  
長 西東

近ア 参審近ア  
長 参次総経国万

長 参質統  
参政技二  
参協  
長 参收経科

長 参道内外  
参道内外  
長 参道内外

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

305

総番号(TA) 32027 主管  
 70年 月 日 13時 15分 沖 編 発  
 70年 6月 29日 15時 30分 本 省 着 米北

外務大臣殿 高瀬 大使 臨時代理大使 総領事 代理

代理会議

第168号 略 大至急

往電第167号に関し

1. 29日朝代理会議を開催、アイテムの削除などについての争点は一応たなあげとし、合意の確保された部分を内容とした報告書により、予定通り7月1日(午後3時)に開催することを決定した。なお、今回は会合の性質が経過的事であることにかんがみ記者会見は行わず、プレスリリースも特に発表しないこととした。

2. 前記報告書は往電第166号の第一次案のうち(1)第4項を手直し、(新第4次別電第169号)複元補償等のGRIアイテム(前回報告書の付表)がドロップされたこと等を示す部分を削除した。(2)第6項の外資の新規申請書の取扱いに関する新機能については、貴電米北/第108号の次第はあるも、GRI側は準備委との関連で主席の最終的理解を得るための手続上(日米りゆう3者の合意が既に達成されていることは何らコンテストしていない)今回は記載せず次回に載ることを強く希望しているの

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

秘

削除(外資の実態調査質問状の点を記載することには異存なし)したものでその他第6項の削除により、第7、8、9、10項が夫々くり上ったこと、第9項のTAB-CがTAB-Aとなったことのほか第1次案と同じである。

3. なお、GRIは外資の新規申請の準備委に対する送付の新系統は、GRI内部の手続き上の調整が終り次第、現実開始し得るものであり、8月の代表会議を必ずしも待つ必要はないとの考え方であるので念のため。

4. 7月1日の代表会議には、上記諸般のラインで臨むことと致したく右御了承願いたい。

(3)

ス

ソカト 万大 博野

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

98

電信写

大政(外)外(機) 務次 典房  
 臣官官審審長長 候総入 計  
 備書文会答給  
 国資長 領移 参調析企  
 参領旅移

総番号(TA) 22026  
 70年6月29日 13時25分 菅 菅 菅 菅  
 70年6月14日 14時48分 本 省 着 米地1  
 外務大臣殿 高瀬(大) 臨時代理大使 総領事 代理

報告書最終案(第4項)

第169号 平 大至急

往電第168号別電

4. AT THE 3 JUNE 1970 MEETING, THE ALTERNATES PRESENTED TO THE COMMISSION THREE LISTS OF PROBLEM AREAS THAT HAD BEEN PRODUCED BY THE SUBCOMMITTEES WITHOUT COMMITMENT BY ANY OF THE GOVERNMENT. THE ALTERNATES STATED THEIR INTENT TO FURTHER CLARIFY, REFINING, AND EXPAND THESE LISTS, TO OMIT FROM THEM ANY ITEMS NOT WITHIN THE PURVIEW OF THE AND TO COMPILE ADDITIONAL LISTS. THE COMMISSION COMMISSION, APPROVED THIS PROCEDURE. THE ALTERNATES NOW INVITE THE COMMISSION TO DIRECT THEM TO CONTINUE THEIR WORK ALONG THIS SAME LINE.

了 参地中東  
 長 北東  
 参 北北保  
 中 参一二  
 南 参西東洋  
 審 西東  
 歌 長

近 了 参書近了  
 経 次総経國万  
 長 参資統  
 経 参政技二  
 協 長 國一理  
 条 参参協提  
 長 国 参政経科  
 長 軍社号  
 情 参道内外  
 長 文長

万大  
局長

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

215

電信写

大 外務省  
務次 典房  
臣 官 密 審 長 長  
係 入 電 厚 部  
係 文 会 管 総

国 資 長 領 移 長  
参 調 析 企  
参 領 旅 移

ア 参 地 中 東  
長 北 東 西  
参 北 北 保  
中 南 番 歐  
参 西 東 洋  
西 東

近 了 長 参 音 近 了  
参 総 経 国 及  
長 参 質 総 二  
参 政 技 二  
参 政 科  
参 政 科  
参 政 科  
参 政 科

総 番 号 (F A) 32242 主 管  
70 年 6 月 30 日 / 5 時 35 分 津 籠 発 着 米 北  
70 年 6 月 30 日 / 8 時 52 分 本 名 着

外 務 大 臣 殿 高 瀬 大 使 臨 時 代 理 大 使 総 領 事 代 理

第 174 号 平

29 日 立 法 院 予 算 委 は 主 席 の 施 政 方 針 。 新 年 度 予 算 案 等 に 関 する 質 問 を 行 な っ た と ころ 。 安 保 。 間 接 雇 用 問 題 に 関 する 主 席 答 弁 要 旨 次 の 通り 。

1. 安 保  
けん 民 ふ く し の 立 場 よ り 。 ひ 害 。 不 安 を も た ら し 。 経 済 発 展 の あ い 附 と な っ て い る 基 地 の 存 在 に 反 対 せ ざる を 得 な い の で 基 地 の 要 である 安 保 に も 反 対 せ ざる を 得 な い 。 けん 民 の 立 場 か ら 安 保 が 自 動 延 長 さ れ た こ と は 懸 念 だ 。 本 土 の 経 済 的 は ん え い は 安 保 に よ る も の で な く 。 国 民 の し 勢 と 勤 べ ん に よ る も の で 。 安 保 が けん 民 の 平 和 に と つ て 必 要 と は 思 わ な い 。 けん 民 ふ く し が 大 切 だ 。

2. 間 接 雇 用  
( 間 接 雇 用 は 地 位 協 定 に 基 づ い て い る 。 し か し 主 席 は 安 保 に 反 対 し て い る 。 こ れ は む じ ゅ ん し な い か と の 質 問 に 対 し )  
安 保 に は 反 対 す る が 。 軍 雇 用 者 の 問 題 は 現 実 的 処 理 を 迫 ら

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

れており、むじゆんはあつても現実の処理を重視する。(ナカマツ労働局長答弁：現在おきなわには安保は適用されていない。少なくとも現時点では安保と関係なく労働者のふくしの立場から間接雇用制度を採り入れて行こうということが実態である。)

(P)

-2-

ソカヒ  
万大  
博阪

政事外務省  
事務次長 典房  
大臣官舎審長 長  
機総人電原計  
機書文会賞給  
機費

調査研企  
参調研企  
参領旅移

ア 参地中東  
長 北東西  
米北北  
中南  
参一  
欧 参西東洋  
長 西東

近ア長  
参近ア  
経 次総経国万  
長 参質統  
経協長 参政技二  
長 参政技二  
国 参政技一  
長 参参商  
国 参政経科  
長 参社専  
参内外  
文長

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 32285  
 70年 1月 30日 17時 20分 沖 緩 発着 米北  
 70年 1月 1日 00時 03分 本 省 着 米北

外務大臣殿 高瀬 大使 臨時代理大使 総領事 代理

第4回準備委員会をめぐる核マル系学生の動向

第176号 略 至急

7月1日午後3時より行なわれる第4回代表会議に対して、核マル系学生約150名がデモをかけるとの情報があるので参考までに報告する。

デモ申請(ナハ署へ)

核マル系学生約150名

目的 \* 日米共同声明ふんさい。復帰準備委員会ふんさいのための全おきなわ学生。高校生統一集会。\*

日時。 当日12時-13時集会

行進 14時半集合場所 国際通り。マキシウガン  
1号線に出て準備委員会へデモをかける予定

警戒体制

機動隊3コ小隊約100名にて警戒に当る予定。

(3)

外務省

ソカヒ  
万大  
博阪

政事外務省  
事務次長 典房  
大臣官舎審長 長  
機総人電原計  
機書文会賞給  
機費

調査研企  
参調研企  
参領旅移

ア 参地中東  
長 北東西  
米北北  
中南  
参一  
欧 参西東洋  
長 西東

近ア長  
参近ア  
経 次総経国万  
長 参質統  
経協長 参政技二  
長 参政技二  
国 参政技一  
長 参参商  
国 参政経科  
長 参社専  
参内外  
文長

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 32284  
 70年 6月 30日 18時 45分 沖 緩 発着 米北  
 70年 7月 1日 00時 02分 本 省 着 米北

外務大臣殿 高瀬 大使 臨時代理大使 総領事 代理

代表会議当日のプレス・ブリーフィング

第177号 略 至急

往電第168号に關し

7月1日午後3時よりの代表会議当日は、今回の会合の性格が経過的なものであることにかんぞみ、共同記者会見は行なはず。また、プレス・リリースも発出しないこととしているが、当地記者団(おきなわの報道機関を含む)の強い希望もあり、当事務所の係官による単独のプレス・ブリーフィングを午後4時半より行なう予定である。その際委員会の活動状況についてある程度の説明を行なわざるを得ないと判断されるところ、産経委に關連し、当地外国企業についての質問状による実態調査を近く開始すること。またBOTA小委に關連し、GOJとしてはBOTAの条項と布令布告との關連につき注目し、BOTAの適用のために復帰前に如何なる布令布告の改廃が必要となるや否やにつき、検討を進めることを提案し、米りゆう共にかかると作業は合意依りこつて速やか説明を加えしめることとし

外務省



秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

た。右御了承願いたい（米りゆう共了承済）（報告書中に含まれている他の部分については言及しない）なお、今回オフ・レコによる説明は考慮していないので念のため

（3）

外務省

秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 32438 主管  
 70年7月/日/17時00分 種 緩 発 着  
 70年7月/日/18時39分 本 省 着 米北

外務大臣殿 高頼大使 臨時代理大使 総領事 代理

代表会議報告書修文

第178号 略

往電第168号に関し

今回の代表会議において採択した報告書については、最終段階で（イ）第2項のCOMMISSIONをCOMMISSION'S OPERATIONSとする。（ロ）第8項冒頭のCURRENTLY BEFOREをNEWLY SUBMITTED TOとする（GRIの希望による）。（ハ）第8項後段のWHICH PARTSのあとに念のためOF PROCLAMATIONS AND ORDINANCESをそり入する（わが方の希望による）の3点につき修正を行なったので御了承ありたい。

（1）

外務省

- ソカヒ 万大 博殿
- 大政務次官 外務省 儀典房
- 儀典房 長官 審長 長官 審長 長官 審長 長官 審長
- 儀典房 書記官 官舎
- 国資長 領移 長
- ア 参地中東 長 北 東 西
- 参北北保
- 参一二
- 参西東洋 長 西 東
- 近ア 参書近ア 次総経 國 万
- 長 参質統 國 三
- 参政技二 四一理
- 参参協規
- 参政総科
- 長 参社専 導内外
- 参

ソカヒ  
カヒ  
万大  
博野

大政事外務省  
務務典房  
次次  
臣官官審審長長  
備総人原計  
備書文会営給

國資長領移長  
參議折企  
參領旅移

ア 參地中東  
長北西  
參北北保  
中南  
參一  
參西東洋  
西東

近ア長  
參近ア  
次総務國万

長參統三  
參政技二  
國一理

長務原組

長國參政課科  
長信社中  
參道内外  
一二

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

175

總番号(TA) 32645  
70年7月1日19時45分 沖 總 発 北  
70年7月1日19時31分 本 省 着 北

外務大臣殿 高瀬(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

第4回準備委員会

第179号 略

1. 第4回準備委員会は、本使館事務進行を担当し本/日午後3時より開会。代理会議報告に示された事項(往電第/69号及び第/78号)につきランバート、ヤラと共に原案通りこれを承認した。

その際ランバートから第7項、施政権移転に関する包括的アプローチにつき米側の作業計画が本日の会合までに間に合わなかつたことはいかんであるが、可及的速かに提出せしむべしとの発言があつた。

2. 本使より、今回は会合後の公式共同記者会見及び新聞発表は行なわざること。ただし、担当官が適宜ブリーフィングをなし得ることにつき確認を求めておいた。また、本日の討議事項のうち、新聞記者との討議を特に禁止すべき事項はなき旨確認された。

3. 次回会合は8月5日開信と合意された。

4. なお、伝えられたマール系学生デモは本委員会の議事進行に關しては何らさしまわりなかつた。

ソカヒ  
カヒ  
万大  
博野

大政事外務省  
務務典房  
次次  
臣官官審審長長  
備総人原計  
備書文会営給

國資長領移長  
參議折企  
參領旅移

ア 參地中東  
長北西  
參北北保  
中南  
參一  
參西東洋  
西東

近ア長  
參近ア  
次総務國万

長參統三  
參政技二  
國一理

長務原組

長國參政課科  
長信社中  
參道内外  
一二

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

206

總番号(TA) 32645  
70年7月2日16時20分 沖 總 発 北  
70年7月2日16時18分 本 省 着 北

外務大臣殿 高瀬(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

立法院総括質問(復帰準備等)

第184号 平

往電第174号に關し

30日の派算連合会においては平良議員(社大)より、準備委員会等につき質問がなされた。これに対し、主席及び座長が顧問代理は(イ)(準備案で繰り上げる事項として)、差当り関心を持つてゐるのは経済開発振興のため、の基設施設づくり、日米援助の配分、公社のあり方、解放地の補償、間接雇用制への移行等であるが他にも重要なものがあつた。作成中である。(ロ)(地位協定の適用を容易にする。とは何を指すかとの質問に対し)、間接雇用、軍用地計画、つぶれ地復元補償、基地公害問題などにつき有効な対策をとることである。(ハ)返かん時期については72年のできるだけ早い機会を以て準備を進めている。4月/日が日米協定の発足日であることもあり(1952年4月/日GRIが設置された)本土政府にはこの日が適切と思ふ旨伝えである。旨答弁した。

(主管課に連絡済)

アメリカ局長

参事官

式部課長

秘密標記 (赤色)

秘

( ) 第 67 号

昭和 45 年 7 月 2 日

外務大臣 殿

準備委代表事務所  
在 高瀬 代表



要処理

自席事務官

南方

渉外調査

業

航空

科協力

連絡調整

調査

六十

局事務

(件名)

第4回準備委員会提議資料等送付

7月1日付

引用公・電信  
日付・番号

従前第179号

7月1日附催した第4回準備委員会に提議  
した代理会議報告書等資料別添のとおり各  
3部送付(1部は日米協議委員会用)申上る。

付属添付  付属空便(行)  付属空便(DP)  付属船便(貨)  付属船便(郵)

本信送付先:

本信写送付先:

配付送:



GA-3-1

在外公館

① 閣議の決定事項

② 報告事項

③ 報告事項の決定事項

④ 報告事項の決定事項

678  
45/7/2

SCENARIO FOR 1 JULY 1970 PREPARATORY COMMISSION MEETING

I. Meeting

1. Time and Date: 1500 hours, Wednesday, 1 July 1970
2. Place: PrepCom Conference Room
3. Participants:
  - GOJ - Representative  
Alternate  
Eight PrepCom Staff Members
  - USG - Representative  
Alternate  
Three PrepCom Staff Members  
Director, Reversion Coordination Group  
Political Advisor to HICOM  
HICOM Information Coordinator
  - GRI - Adviser  
Alternate  
Three PrepCom Staff Members
  - Others - Stenographer (PrepCom Secretariat)  
Two Language Aides (USG - Mr. Sankey,  
GRI - Mr. Oshiro. Mr. Sankey will do  
all interpreting.)
4. Procedures: (Picture taking will be permitted)
  - 1455: USG Representative will arrive and be escorted to GOJ Representative's room by USG Alternate. Adviser will arrive and be escorted to GOJ Representative's room by GRI Alternate.
  - 1500: Representatives and Adviser will proceed to conference room.
  - 1505: A GOJ PrepCom staff member will ask cameramen to leave.
    - a. GOJ Representative will raise for discussion and approval, in the order shown in the attached "Report to the Preparatory Commission From the Alternates," the following items:
      - (1) (Para 1) Introduction of Minister Yoshioka by Ambassador Takase.

(2) (Para 2) Recognition of Mr. Kaya's services as Acting GOJ Alternate.

(3) (Para 3) Designation of Miss Sata as Director of Joint Secretariat.

(4) (Para 4) Continued authority of Alternates to carry out work procedure.

(5) (Para 6) Study and transfer of administrative turnover items with financial implications.

(6) (Para 7) Study of comprehensive approach to transfer of administrative rights.

(7) (Para 8) Review of proclamations and ordinances in relation to application of SOFA to Okinawa.

(8) (Para 9) Forwarding of today's report to ConCom.

b. GOJ Representative will ask for agreement that the next meeting be held on Wednesday, 5 August 1970.

c. GOJ Representative will ask if there was anything in today's meeting that should not be discussed with press.

d. GOJ Representative will ask if there are other matters to take up at this time and say, "If not, the meeting is adjourned."

GOJ Representative will go to his office.

USG Representative will leave building.

Adviser will leave building.

II. Press:

1. There will be no press conference held by the Principals or Alternates.
2. There will be no press release.

3. The Joint Secretariat will orally notify the news media that the PrepCom meeting will be held on 1 July and photographers will be permitted to take pictures prior to commencement of the meeting. Any press queries will be received by the Joint Secretariat and directed to the individual previously designated within each element as the contact point for the news media.

準備委員会  
沖縄那覇

1970年7月1日

首題： 準備委員会に対する代理会議の報告

- 1 米国政府代表代理および琉球政府顧問代理は、準備委員会に対し日本国政府代表代理として新しく代理会議に加わった公使吉岡一郎を、高瀬大使より正式に紹介するよう提案する。
- 2 米国政府代表代理および琉球政府顧問代理は、3月24日当委員会発足時より6月吉岡公使着任まで日本国政府代表代理代行を勤めた賀陽参事官の寄与に対する代理会議の謝意に関し、委員会が留意するよう希望する。  
委員会は、賀陽参事官の貴重な援助をえて代理会議のレベルで効果的な機能を果たした。
- 3 1970年5月6日の会議において委員会は、佐多嬢が、合同事務局の事務及び人員による作業につき管理者として総括することを承認したが、代理会議は1969年12月以来日米琉諮問委員会および復帰準備委員会においてこれらの総括的職能を果たしてきた佐多嬢は、事務局長としての正式なタイトルを付与されるに値することを確信し、委員会が佐多嬢に対する右タイトルを承認するよう要請する。

首題： 準備委員会に対する代理会議の報告

- 4 1970年6月3日の会議において、代理会議は、準備委員会に対し小委員会案として、いずれの政府もコミットメントを付さないで作成された小委員会の問題分野についての3つのリストを提出した。代理会議はこれらのリストを更に洗練拡大し、準備委員会の権限に属しない項目についてはリストから除外し或いはリストに加えていくことを考慮している旨明らかにしており、委員会もこの手続を承認した。  
代理会議は委員会が上記の報告に従い作業を継続するよう代理会議に対し指示することを要請する。
- 5 6月30日の会議に提出された報告書において、代理会議は、琉球に対する日本政府調査団の調整に関連し各種の機能を実行するための、また同時に資料収集を目的とした日本政府の公式要請に応ずるための、委員会の手続が完成していることを確認した。代理会議は確立された手続が期待通り満足に機能を果たしている旨報告することを喜びとするものである。  
最近のそして顕著な例は、日本政府が米国人及びその他の非琉球人商工業従事者に質問状の型で調査を行うことを計画していることである。委員会は質問状を受理し、然るべき径路を通じこれを適宜商工業従事者へ配付し、以後記入済の質問状写を東京へ送付するよう、それらの写を委員会の日本政府代表事務所へ回付する予定となっている。

首 題： 準備委員会に対する代理会議の報告

6 委員会に対する代理会議への1970年6月3日付報告に添付され、主として施政権移転現地準備小委員会の所管に属すると暫定的に決められたリストについて変更はないが代理会議は検討の結果、リスト中の財政的背景を持つ項目であるとの合意に達した項目については、委員会より、爾後の検討と代理会議に対する結果報告の回付をうるため、米国民政府計画局、琉球政府企画局および沖縄北方対策庁沖縄事務局に移管することを認めるよう勧告する。

委員会が上述の項目の検討と移管を承認するよう要請する。

7 米国側は、施政権移転について更に包括的な手がかりをうるための計画について作業を行っている。

代理会議は、本計画が代理会議により受け入れられた場合には、この計画は確立された手続に従って今後の措置がとられるよう適当な小委員会に割当てられ、かつ検討されるよう提案する。

委員会が上記の措置を承認するよう要請する。

8 新たに地位協定沖縄適用現地準備小委員会（以下地位協定小委員会と称す。）に提議されているものに「地位協定の沖縄適用に関連する布令、布告の検討」に関する文書があり、右は別表Aのとおりである。

代理会議は、地位協定の沖縄への適用が円滑に推移することに役立たせるために、地位協定小委員会が、沖縄の本土復帰前に、若しありとすれ

首 題： 準備委員会に対する代理会議の報告

ば、布令布告の如何なる部分に可能な修正が考慮されるべきかを決定するため、上述の文書について検討するよう勧告する。

代理会議は委員会が上記の検討を承認するよう要請する。

9 委員会の活動の経過を随時報告するよう求めている協議委員会の要請に応ずるため、代理会議は「協議委員会に対する準備委員会の報告」との表題の報告書の写に、委員会が7月1日の会議で採択した決定事項を付して適当な経路を通じ、協議委員会に送付するよう勧告する。

1 July 1970

REPORT TO THE PREPARATORY COMMISSION FROM THE ALTERNATES

1. The USG and GRI Alternates suggest to the Commission that Ambassador Takase formally introduce their new colleague, GOJ Alternate Representative, Minister Ichiro Yoshioka.
2. The USG and GRI Alternates also wish to bring to the attention of the Commission their appreciation for the contribution made by Mr. Kaya during his period of service as Acting GOJ Alternate from the beginning of the Commission's operations on 24 March until the arrival of Minister Yoshioka in June. The Commission was able to function effectively at the Alternate level as a result of Mr. Kaya's valuable assistance.
3. At its 6 May 1970 meeting, the Commission approved Miss Sata as the individual to supervise the administrative business and the work of the personnel who comprise the Joint Secretariat. The Alternates believe that Miss Sata, who has carried out these supervisory functions in AdCom and in the Commission since December 1969, now deserves to be given the official title of Director of the Joint Secretariat. They invite the Commission to approve this title for Miss Sata.
4. At the 3 June 1970 meeting, the Alternates presented to the Commission three lists of problem areas that had been produced by the subcommittees without commitment by any of the governments. The Alternates stated their intent to further clarify, refine, and expand these lists, to omit from them any items not within the purview of the Commission, and to compile additional lists. The Commission approved this procedure. The Alternates now invite the Commission to direct them to continue their work along this same line.

5. In the report submitted at the 3 June meeting, the Alternates affirmed that procedures had been completed for the Commission to carry out various functions relative to the coordination of GOJ study missions to the Ryukyus as well as for official GOJ requests for information. The Alternates are pleased to report that the established procedures have been functioning satisfactorily in the manner intended. A recent and conspicuous example is a pending request in the form of a questionnaire from the GOJ to American and other non-Ryukyuan businessmen. The Commission will receive the questionnaire, distribute it through channels to the appropriate businessmen, and then return the completed copies of the questionnaire to the GOJ Element of the Commission for forwarding to Tokyo.
6. The list in the 3 June 1970 Report to the Preparatory Commission from the Alternates, tentatively identified as being primarily within the jurisdiction of the Subcommittee on Local Preparations for Transfer of Administrative Rights, has remained unchanged. However, the Alternates recommend that, after they study and reach agreement on which items listed have financial implications, they be permitted to transfer these items from the Commission to the USCAR Comptroller Department, the GRI Planning Department, and OBONTA for further consideration and subsequent report back to the Alternates. The Commission is invited to approve the proposed study and transfer of these items.
7. The U S side has been working on a plan for a more comprehensive approach to the transfer of administrative rights. The Alternates propose that when this plan has been received by them it will be studied and assignments will be made to the appropriate subcommittees for further action in keeping with established procedures. The Commission is invited to approve this proposed



action.

8. Newly submitted to the Subcommittee on Local Preparations to Facilitate Application to Okinawa of SOFA (hereinafter "SOFA Subcommittee") is a paper on "Review of Proclamations and Ordinances in Relation to Application of SOFA to Okinawa." This paper is at TAB A. The Alternates recommend that the SOFA Subcommittee conduct the proposed review to determine which parts of the proclamations and ordinances, if any, should be considered for possible modification before reversion, in the interest of helping to provide for a smooth transition of the application of SOFA to Okinawa. The Alternates invite the Commission to approve such review.

9. To respond to the request of the Consultative Committee to be kept informed of the progress of the Commission from time to time, the Alternates recommend that a copy of this report, under the title of "Report to the Consultative Committee from the Preparatory Commission," be forwarded through proper channels to ConCom together with an indication of the action taken on it by the Commission at the 1 July meeting.

REVIEW OF PROCLAMATIONS AND ORDINANCES IN RELATION TO  
APPLICATION OF SOFA TO OKINAWA

1. Military Facilities

- a. Custodian of Property (Navy Military Government Proc No. 7, 1945)  
Property Custodian (MG Dir No. 19, 1948)
- b. Compensation for Use of Real Estate Within Military Areas  
(CA Proc No. 26, 1953)
- c. Authority to Accomplish Execution of Leases and Rental Payment on Privately Owned Ryukyuan Lands Occupied by the United States of America for the Period from 1 July 1950 through 27 April 1952 (CA Ord No. 105, 1953)
- d. Procedure for Payment of Compensation for Land Acquisition (CA Ord No. 110, 1953)
- e. Compensation for Use of Real Estate Within Military Areas (CA Ord No. 120, 1953)
- f. Registration of Lands Known as Municipal Land Unsubdivided (CA Ord No. 146, 1955)
- g. United States Land Acquisition Program (CA Ord No. 164, 1957)
- h. Authority to Enter Upon Lands for Investigation and/or Survey Purposes (CA Ord No. 171, 1957)
- i. Acquisition of Interim Leasehold Interests (HICOM Ord No. 18, 1959)
- j. Acquisition of Leasehold Interest (HICOM Ord No. 20, 1959)
- k. Establishment of the United States Land Tribunal for the Ryukyu Islands (HICOM Ord No. 19, 1959)  
The United States Land Tribunal for the Ryukyu Islands (GO No. 4, 1959)  
The United States Land Tribunal for the Ryukyu Islands (LO, 1959)
- l. Registration and/or Entry Regulations in Regard to Land in Which the United States Holds or Acquires an Interest (CA Dir No. 3, 1959)

m. Management of Prefectural and Japanese State Forest Land (HICOM Dir No. 2, 1962)

2. Indirect Employment System

a. Labor Relations and Labor Standards Concerning Ryukyuan Employees (CA Ord No. 116, 1953)

3. Treatment of Public Utilities

a. Establishment of the Ryukyuan Domestic Water Corporation (HICOM Ord No. 8, 1958)

b. Establishment of the Ryukyuan Electric Power Corporation (CA Ord No. 129, 1954)

4. Judicial Jurisdiction and Other Matters

a. Executive Order 10713 Providing for Administration of the Ryukyu Islands, 1957

# The Order: Sections 1, 2 and 10; SOFA Article 3 and 17 10

b. United States Civil Administration Appellate Court (CA Proc No. 6, 1958)

# SOFA: Article 18, 9 and 10 and Article 14 8

United States Civil Administration Appellate Court (HICOM Ord No. 6, 1958)

United States Civil Administration Criminal Courts (CA Proc No. 8, 1958)

United States Civil Administration Civil Court (CA Proc No. 9, 1958)

Civil Jurisdiction of Ryukyuan Court Systems (CA Ord No. 58, 1952)

Executive Order 10713 Providing for the Administration of the Ryukyu Islands, 1957

# The Order: Section 11

b. Code of Penal Law and Procedure (CA Ord 144, 1955)

# The Ordinance: Part 1, and Part 2 Chapters 2 and 6; SOFA: Article 17

c. Control of Entry and Exit of Individuals into and from the Ryukyu Islands (CA Ord No. 125)

# The Ordinance: Section IV 10; SOFA: Article 5, Article 9 and Article 14 3 (a) (b)

d. Executive Order 11326 Providing for Air Transportation in the Ryukyu Islands, 1967

# The Order: Section 6

e. Air Transportation in the Ryukyu Islands (HICOM Ord No. 62, 1967)

# The Ordinance: Chapter II 2-1; SOFA: Article 5 1 and 2, Article 6

f. Entry and Exit of Non-Ryukyuan Surface Vessels (CA Ord No. 131, 1954)

# The Ordinance: 1, General; SOFA: Article 5

g. Communications (CA Ord No. 128, 1954)

# The Ordinance: Article I.; SOFA: Articles 6, 8 and 21

h. Payment of Tax on Private Vehicles for Use of Highways (CA Ord 126, 1954)

# SOFA: Article 10, Article 13 3 and Article 14 6

i. Ryukyuan Income Taxes (CA Ord 114, 1953)

# The Ordinance: - Section 1, Section 2 a. c. and Section 3; SOFA: Article 13 and Article 14 6 and 7

j. Power of Apprehension of Ryukyuan Civil Police (CA Ord No. 87, 1952)

# SOFA: Article 17 5 (a) (b), 6 and 7

k. Settlement of Ryukyuan Pretreaty Claims (HICOM Ord No. 60, 1967)

# SOFA: Article 8 5, 6, 7 and 8

l. Foreign Trade in the Ryukyu Islands (HICOM Ord No. 12, 1958)

# SOFA: Article 19 and Article 14 3 (e)

m. Currency (HICOM Ord No. 14, 1958)

# SOFA: Article 20 and Article 14 3 (f)



原議  
「米穀増産計画」  
アメリカ局長  
事務官  
多田

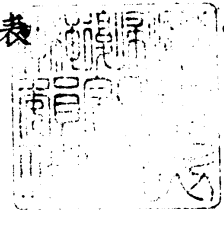
種 類  
無 期 限  
1000の附  
9号

( ) 第 80 号

昭和 45 年 7 月 16 日

外務大臣 殿

在準備委代表事務所  
高瀬 代 表



理  
事務官  
渉  
系  
空  
科学協力  
速  
調整  
調査  
力  
十  
局庶務

(件名) 返還時における民政の諸権限の  
移行促進のための米側提案の送付

引用公・電信  
日付・番号 往電第197号

冒頭往電の又、その空送方通報申上げた標  
題提案案和文各二部別添の送付おろし

御査収願ひ。 7月13日提案

付録あり 日通郵便 日通郵便 日通郵便 日通郵便 日通郵便

本信送付先：  
本信写送付先：  
配付送：



極秘

返還時における民政の諸権限の移行を  
促進するための提案（仮訳）

極秘  
無期限

10部の内

昭和45年7月14日 9号

- 1 米国は、米国の民政の諸権限の民政府から琉球政府及び日本政府への円滑な移転のため下記の指針を予定スケジュールとともに提案する。  
諸々の機能は、広汎な用語で示されており、各機能の琉球政府及び日本政府に対する譲渡（relinquishment）の条件についての詳細な討議が必要とされるであろう。諸機能は、それらが放棄される「時間的的局面（the time place）」にしたがって分類されている。（「時間的的局面」についての叙述は下記のとおり）第1局面の各項目が先ず第一に考慮され、それらの放棄についての解決策が展開されたあとで、第2、第3の局面及び「残存機能」がその順序で取扱われるであろう。
- 2 東京の外交経路に於て扱われている民政移行の問題は予定スケジュールには含まれていない。これらの問題についての準備委員会の研究や他のアクションは、外交経路の討議の結果を待たなければならない。
- 3 準備委員会の原則と指針は、復帰についての準備に於て扱われるべき四つの主要な考慮は下記の諸点を特定している。（省略）
- 4 琉球諸島の内部の行政の究極的機能と責任は復帰までひきつゞき米国に留保されるが、施政権の円滑な移行のため、米政府は、若干の民政府の機能が「復帰の日」以前に琉球政府に委譲されるよう、また機能を実施する面で琉球政府を援助するため琉球政府の作業に日本政府職員参加を増やすことを提案する。日本政府の職員参加が行われる条件や

諸機能が琉球政府に委譲される条件は、準備委員会に於て、ひとつの項目ごとに交渉されることとなろう。基本的には、米国の提案は、米政府は、日本政府との合意により、累進的に、これらの選別された機能の履行面から、離脱して行くべきであるということである。究極的な権限や責任を反映して、米国は如何なる機能の遂行にも介入する権利を保有するが、実際にこの権利を履行することは予測されないであろう。

- 5 施政的機能からの離脱は下記の局面にしたがって達成されるであろう。
  - (イ) 第1局面——現在から返還協定の調印迄（計画としては1971年春）
  - (ロ) 第2局面——調印から、必要な国会の承認の達成迄（計画としては1971年後半）
  - (ハ) 第3局面——立法府の承認から復帰の日迄（計画としては1972年7月1日）
  - (ニ) 残存機能——復帰の日
  - (ホ) 復帰の日に次ぐ「復帰後過渡期間」

#### 6 「離脱スケジュール」

米国は、下記の「離脱のためのスケジュール」につきその考え方を洗練し、後日そのスケジュールのための修正を提案する意向である。米政府は、米政府又はその下部機構が財政的貢献を行つてゐるすべての計画、プログラム、プロジェクトについて概括的なレビューを行う権利を留保する。

人事課  
の取付

第一局面

米政府は、日本政府が、米政府に受け入れられうる限度と様式により、これらの機能を遂行することを約定することを条件として、下記(イ)(ロ)の機能を遂行することを停止することを提案する。

(イ) 琉球に対する日本政府の援助計画の管理に対する監察

この機能は、米政府と日本政府の間に合意される条件により出来る限り早く日本政府に譲渡されるであろう。

移助  
未定

(ロ) 特別の琉球政府の部局活動についての勧告と援助の機能

(a) 下記の琉球政府の部局に対する勧告と援助の付与

農林局、建設局(米政府によつてファイナンスされているプロジェクトを除く)、文教局、法務局、主税局(非琉球の人及び会社の課税を除く)、総務局、計画局、通産局、厚生局

(b) 琉球の金融機関、保険会社、銀行及び商社に対する技術的な勧告と援助

(c) 琉政の一般及び特別資金勘定予算の編成についての勧告と技術的援助

(d) <sup>trust fund</sup> トラスト・ファンド・ビューロー・ファンドの管理についての琉球政府に対する勧告の付与

(e) 経済統計と予測の収集、研究、報告についての琉球政府への勧告の付与

(f) (c) 刑務所、矯正院、消防署に対する勧告と援助の付与

(c) 労働計画の発展と労働組合の組成についての勧告と援助の付与

(d) 米国外の所有する海事航海援助の活動及び維持についての勧告と援助の付与

(e) 米文化センターの若干のものの運営は、米政府と各関係都市によつて交渉される条件により、それぞれの都市によつて間もなく引継かれるであろう。

第二局面

米政府は、下記の機能が、日本政府との合意によつて、琉球政府に委譲されることを提案する。これらの機能は、局部的には、「県」のものというよりはむしろ「国」のものという性質のものであるので、米政府は日本政府が適当な援助を琉球政府に与えることを約することが必要とされるであろう。

(i) 基地外軍用道路網の管理

(ii) 国県有地の管理

(iii) 1972米国会計年度後の現物援助の供与

第三局面

米政府は、下記の機能が日本政府との合意によつて琉球政府に委譲されることを提案する。これらの機能は、局部的には「県」のものというよりはむしろ「国」のものという性質のものであるので、米政府は日本政府が適当な援助を琉球政府に与えることを約する必要とされるであろう。

(イ) 日本国民の琉球への永住と戸籍の確立

(ロ) 検疫、関税及び国際麻薬統制の管理

(ハ) 米国の機関による使用のための土地の取得

第三局面の過程に於ては、日本政府が諸種の国際問題（郵政、保健など）につき沖縄のために、諸国際機関と調整を行う機能を継受することが提案される。

#### 残存機能

上記に言及されていない民政機能の移行準備も復帰の日の前に行われべきである。復帰の日に移転されるべき機能は、

(イ) 民政府諸公社の所有権と統制（移行の条件などは外交レベルで定められるが、移行のための地方的な履行上の詳細は決定する必要がある。）

(a) 琉球電力公社

(b) 琉球水道公社

(c) 琉球開発金融公社

(ロ) 下記の琉球政府の部局に対する勧告と援助の付与

企画局（米國援助資金の管理のために）、建設局（米國政府によつてファイナンスされているプロジェクトのために）、主税局（非琉球人と非琉球会社の課税のために）

(ハ) 公安管理と琉球政府警察局に対する助言の付与

(ニ) 入国統制の管理（琉球訪問希望者のための申請許可を含む）

(ホ) 日本郵政制度への移行

(ヘ) 琉球船舶を日本船舶として登録すること（琉球三角旗の廃止）

日本のラジオコールサインの使用

（註）復帰後は沖縄に於ける日本法の完全適用以前に過渡的期間がおかれるであろう。

CONFIDENTIAL

CONFIDENTIAL IN NATURE  
Preparatory Commission

Confidential

8  
10

Proposal to Facilitate the Transfer at Reversion of Civil Administrative Rights

805  
45216

1. The U.S. proposes the following guidelines for a smooth shift of U.S. civil administrative functions from USCAR to the GRI and to the GOJ, together with a proposed schedule. The functions are shown in broad terms, and detailed discussion of the conditions of relinquishment of each function to the GRI and GOJ will be required. The functions have been classified according to the time phase during which they would be relinquished (a description of the time phases is provided below). It is suggested that the items in Phase 1 be considered first and, following the development of solutions for their relinquishment, the items in Phases 2, 3 and "Remaining Functions" be dealt with in that order.

2. Civil transfer matters being handled through diplomatic channels in Tokyo have not been included in the proposed schedule. Any PrepCom study or other action on those matters must await the outcome of the discussions in diplomatic channels.

3. The PrepCom Principles and Guidelines specified four prime considerations involved in the preparations for reversion:

a. The welfare and interests of the inhabitants of Okinawa are to be promoted with full consideration to their views and aspirations; and orderly and stable transition in the social, economic and commercial fields is to be assured.

b. The administrative rights of the United States in Okinawa will remain intact and unimpaired until the time of reversion.

CONFIDENTIAL IN NATURE  
Preparatory Commission

CONFIDENTIAL IN NATURE  
Preparatory Commission

c. The complex efforts required of the Government of Japan in order to prepare for the assumption of administrative rights after reversion will be made with speed and effectiveness through the cooperation of the authorities concerned.

d. While carrying out preparations to apply the Treaty of Mutual Cooperation and Security and related arrangements without modification to Okinawa upon reversion, the effectiveness of the United States forces in Okinawa in terms of the security of the Far East including Japan is to be maintained.

4. Although ultimate authority and responsibility for administration within the Ryukyus must continue to rest with the U.S. until Reversion, in the interest of a smooth passage of administrative rights the USG proposes that certain USCAR functions be delegated to the GRI prior to R-Day and that the participation of GOJ officials in the work of the GRI be increased, to assist the GRI in carrying out the additional functions. The conditions under which GOJ officials' participation would occur, and under which the functions would be delegated to the GRI, would be negotiated on an item-by-item basis in the Preparatory Commission. Basically, the U.S. proposal is that the USG should, by agreement with the GOJ, progressively disengage itself from the performance of these selected functions. Reflecting its ultimate authority and responsibility, the U.S. would retain the right to intervene in the discharge of any function, though exercise of this right would not be anticipated.

5. The disengagement from administrative functions would be accomplished according to the following phases:

CONFIDENTIAL IN NATURE  
Preparatory Commission



- a. Phase 1 - From the present until a U.S.-Japan reversion agreement has been signed (for planning purposes, the spring of 1971).
- b. Phase 2 - From signature of a reversion agreement until achievement of necessary Congressional and Diet support (for planning purposes, late 1971).
- c. Phase 3 - From legislative approval until Reversion Day (for planning purposes, July 1, 1972).
- d. "Remaining Functions" - Reversion Day.
- e. Post reversion transition period following Reversion Day.

#### 6. Disengagement Schedule

The U.S. will continue to refine its thinking concerning the following disengagement schedule and may at a later date wish to propose amendments to the schedule. The USG specifically retains the right to conduct comprehensive reviews of all plans, programs, and projects in which the USG or its instrumentalities is making or has made a financial contribution.

##### Phase 1

The USG proposes to cease performing the functions in paragraphs a and b below, provided that the GOJ will undertake to carry out these functions to the extent and in a manner deemed acceptable to the USG.

a. Supervision over administration of the GOJ aid program to the Ryukyus. This function would be relinquished to the GOJ as soon as possible under conditions to be agreed between the USG and the GOJ.

b. Advisory and Assistance Functions on Specified GRI Department Activities.

(1) Provision of advice and assistance to the following GRI Departments:

Agriculture and Forestry, Construction (except for those projects financed by the USG),

Education, Legal Affairs, Taxation and Revenue (except for taxation of non-Ryukyuan persons and firms), General Affairs, Planning (except for administration of U.S. aid funds), Trade and Industry and Welfare.

(2) Provision of legal and technical advice and assistance to Ryukyuan financial institutions, insurance companies, banks and business enterprises.

(3) Provision of advice and technical assistance on the formulation of the GRI General Account and Special Account budgets.

(4) Provision of advice to GRI on management of the Trust Fund Bureau Fund.

(5) Provision of advice to GRI on collection, analysis and reporting of economic statistics and forecasts.

(6) Provision of advice and assistance to prisons, reformatories and fire departments.

(7) Provision of advice and assistance in developing labor programs and structuring labor unions.

(8) Provision of advice and assistance on operation and maintenance of non-U.S. owned maritime navigational aids.

c. It is anticipated that operation of certain of the US Cultural Centers will shortly be taken over by their municipalities under conditions to be negotiated by the USG with each municipality.

##### Phase 2

The USG proposes that the following functions be delegated, by agreement with the GOJ, to the GRI. Since these functions are in part national rather than prefectural in nature, the USG would require undertaking by the GOJ to provide appropriate assistance to the GRI.

- a. Maintenance of the off-post military road net.
- b. Administration of former Japanese State and Prefectural Lands.
- c. Provision after USFY 1972 of aid-in-kind assistance.

如何なるものか  
照会の要あり

Phase 3

The USG proposes that the following functions be delegated, by agreement with the GOJ, to the GRI. Since these functions are in part national rather than prefectural in nature, the USG would require undertaking by the GOJ to provide needed technical assistance to the GRI.

- a. Administration of controls over the permanent immigration of Japanese nationals into the Ryukyus and the establishment of family registers.
- b. Administration of quarantine, customs and international narcotics control.
- c. Acquisition of land for use by U.S. agencies.

日本の住者に対して  
指図？  
もつと早く出来た  
このR.S.は...  
(米軍)

It is proposed that during Phase 3 the GOJ take over the functions of coordinating on behalf of Okinawa with international organizations on various international matters (posts, health, etc.).

Remaining Functions

Preparations for the transfer of civil administrative functions not cited above should also be made in advance of Reversion Day.\* Such remaining functions, to be transferred on Reversion Day, would include:

- a. Ownership and control of the USCAR corporations (though terms and conditions of transfer will be established at the diplomatic level, many local implementing details of transfer need to be determined):

- (1) Ryukyu Electric Power Corporation
- (2) Ryukyu Domestic Water Corporation
- (3) Ryukyu Development Loan Corporation

- b. Provision of advice and assistance to the following GRI Departments:

Planning (for administration of U.S. aid funds), construction (for projects financed by the USG), Taxation and Revenue (for taxation of non-Ryukyuan persons and firms).

赤字の  
田舎  
格好の  
要あり

- c. Administration of public safety and provision of advice to the GRI Police Department.

早く出来た

- d. Administration of immigration controls, including approval of applications for persons desiring to visit the Ryukyus.

- e. Changeover to Japanese postal system.

- f. Registration of Ryukyuan vessels as Japanese (with abolition of Ryukyuan pennant) and use of Japanese radio call signs.

\* After reversion there may be a transitional period prior to full application of Japanese law in Okinawa.

意味



678  
45/7/2

SCENARIO FOR 1 JULY 1970 PREPARATORY COMMISSION MEETING

I. Meeting

1. Time and Date: 1500 hours, Wednesday, 1 July 1970
2. Place: PrepCom Conference Room
3. Participants:
  - GOJ - Representative  
Alternate  
Eight PrepCom Staff Members
  - USG - Representative  
Alternate  
Three PrepCom Staff Members  
Director, Reversion Coordination Group  
Political Advisor to HICOM  
HICOM Information Coordinator
  - GRI - Adviser  
Alternate  
Three PrepCom Staff Members
  - Others - Stenographer (PrepCom Secretariat)  
Two Language Aides (USG - Mr. Sankey,  
GRI - Mr. Oshiro. Mr. Sankey will do  
all interpreting.)
4. Procedures: (Picture taking will be permitted)
  - 1455: USG Representative will arrive and be escorted to GOJ Representative's room by USG Alternate. Adviser will arrive and be escorted to GOJ Representative's room by GRI Alternate.
  - 1500: Representatives and Adviser will proceed to conference room.
  - 1505: A GOJ PrepCom staff member will ask cameramen to leave.
    - a. GOJ Representative will raise for discussion and approval, in the order shown in the attached "Report to the Preparatory Commission From the Alternates," the following items:
      - (1) (Para 1) Introduction of Minister Yoshioka by Ambassador Takase.

(2) (Para 2) Recognition of Mr. Kaya's services as Acti. GOJ Alternate.

(3) (Para 3) Designation of Miss Sata as Director of Joint Secretariat.

(4) (Para 4) Continued authority of Alternates to carry out work procedure.

(5) (Para 6) Study and transfer of administrative turnover items with financial implications.

(6) (Para 7) Study of comprehensive approach to transfer of administrative rights.

(7) (Para 8) Review of proclamations and ordinances in relation to application of SOFA to Okinawa.

(8) (Para 9) Forwarding of today's report to ConCom.

b. GOJ Representative will ask for agreement that the next meeting be held on Wednesday, 5 August 1970.

c. GOJ Representative will ask if there was anything in today's meeting that should not be discussed with press.

d. GOJ Representative will ask if there are other matters to take up at this time and say, "If not, the meeting is adjourned."

GOJ Representative will go to his office.

USG Representative will leave building.

Adviser will leave building.

II. Press:

1. There will be no press conference held by the Principals or Alternates.
2. There will be no press release.

3. The Joint Secretariat will orally notify the news media that the PrepCom meeting will be held on 1 July and photographers will be permitted to take pictures prior to commencement of the meeting. Any press queries will be received by the Joint Secretariat and directed to the individual previously designated within each element as the contact point for the news media.

準備委員会  
沖縄那覇

1970年7月1日

首題： 準備委員会に対する代理会議の報告

- 1 米国政府代表代理および琉球政府顧問代理は、準備委員会に対し日本国政府代表代理として新しく代理会議に加わった公使吉岡一郎を、高瀬大使より正式に紹介するよう提案する。
- 2 米国政府代表代理および琉球政府顧問代理は、3月24日当委員会発足時より6月吉岡公使着任まで日本国政府代表代理代行を勤めた賀陽参事官の寄与に対する代理会議の謝意に関し、委員会が留意するよう希望する。  
委員会は、賀陽参事官の貴重な援助をえて代理会議のレベルで効果的な機能を果たした。
- 3 1970年5月6日の会議において委員会は、佐多嬢が、合同事務局の事務及び人員による作業につき管理者として総括することを承認したが、代理会議は1969年12月以来日米琉諮問委員会および復帰準備委員会においてこれらの総括的職能を果たしてきた佐多嬢は、事務局長としての正式なタイトルを付与されるに値することを確信し、委員会が佐多嬢に対する右タイトルを承認するよう要請する。

首題： 準備委員会に対する代理会議の報告

- 4 1970年6月3日の会議において、代理会議は、準備委員会に対し小委員会案として、いずれの政府もコミットメントを付さないで作成された小委員会の問題分野についての3つのリストを提出した。代理会議はこれらのリストを更に洗練拡大し、準備委員会の権限に属しない項目についてはリストから除外し或いはリストに加えていくことを考慮している旨明らかにしており、委員会もこの手続を承認した。  
代理会議は、委員会が上記の報告に従い作業を継続するよう代理会議に対し指示することを要請する。
- 5 6月30日の会議に提出された報告書において、代理会議は、琉球に対する日本政府調査団の調整に関連し各種の機能を実行するための、また同時に資料収集を目的とした日本政府の公式要請に応ずるための、委員会の手続が完成していることを確認した。代理会議は確立された手続が期待通り満身に機能を果たしている旨報告することを喜びとするものである。  
最近のそして顕著な例は、日本政府が米国人及びその他の非琉球人商工業従事者に質問状の型で調査を行うことを計画していることである。委員会は質問状を受理し、然るべき径路を通じこれを適宜商工業従事者へ配付し、以後記入済の質問状写を東京へ送付するよう、それらの写を委員会の日本政府代表事務所へ回付する予定となつている。

首 題： 準備委員会に対する代理会議の報告

- 6 委員会に対する代理会議への1970年6月3日付報告に添付され、主として施政権移転現地準備小委員会の所管に属すると暫定的に決められたリストについて変更はないが代理会議は検討の結果、リスト中の財政的背景を持つ項目であるとの合意に達した項目については、委員会より、爾後の検討と代理会議に対する結果報告の回付をうるため、米国民政府計画局、琉球政府企画局および沖縄北方対策庁沖縄事務局に移管することを認めるよう勧告する。

委員会が上述の項目の検討と移管を承認するよう要請する。

- 7 米側は、施政権移転について更に包括的な手がかりをうるための計画について作業を行つている。

代理会議は、本計画が代理会議により受け入れられた場合には、この計画は確立された手続に従つて今後の措置がとられるよう適当な小委員会に割当てられ、かつ検討されるよう提案する。

委員会が上記の措置を承認するよう要請する。

- 8 新たに地位協定沖縄適用現地準備小委員会（以下地位協定小委員会と称す。）に提議されているものに「地位協定の沖縄適用に関連する布令、布告の検討」に関する文書があり、右は別表Aのとおりである。

代理会議は、地位協定の沖縄への適用が円滑に推移することに役立たせるために、地位協定小委員会が、沖縄の本土復帰前に、若しありとすれ

首 題： 準備委員会に対する代理会議の報告

ば、布令布告の如何なる部分に可能な修正が考慮されるべきかを決定するため、上述の文書について検討するよう勧告する。

代理会議は委員会が上記の検討を承認するよう要請する。

- 9 委員会の活動の経過を随時報告するよう求めている協議委員会の要請に応ずるため、代理会議は「協議委員会に対する準備委員会の報告」との表題の報告書の写に、委員会が7月1日の会議で採択した決定事項を付して適当な経路を通じ、協議委員会に送付するよう勧告する。

1 July 1970

REPORT TO THE PREPARATORY COMMISSION FROM THE ALTERNATES

1. The USG and GRI Alternates suggest to the Commission that Ambassador Takase formally introduce their new colleague, GOJ Alternate Representative, Minister Ichiro Yoshioka.
2. The USG and GRI Alternates also wish to bring to the attention of the Commission their appreciation for the contribution made by Mr. Kaya during his period of service as Acting GOJ Alternate from the beginning of the Commission's operations on 24 March until the arrival of Minister Yoshioka in June. The Commission was able to function effectively at the Alternate level as a result of Mr. Kaya's valuable assistance.
3. At its 6 May 1970 meeting, the Commission approved Miss Sata as the individual to supervise the administrative business and the work of the personnel who comprise the Joint Secretariat. The Alternates believe that Miss Sata, who has carried out these supervisory functions in AdCom and in the Commission since December 1969, now deserves to be given the official title of Director of the Joint Secretariat. They invite the Commission to approve this title for Miss Sata.
4. At the 3 June 1970 meeting, the Alternates presented to the Commission three lists of problem areas that had been produced by the subcommittees without commitment by any of the governments. The Alternates stated their intent to further clarify, refine, and expand these lists, to omit from them any items not within the purview of the Commission, and to compile additional lists. The Commission approved this procedure. The Alternates now invite the Commission to direct them to continue their work along this same line.

5. In the report submitted at the 3 June meeting, the Alternates affirmed that procedures had been completed for the Commission to carry out various functions relative to the coordination of GOJ study missions to the Ryukyus as well as for official GOJ requests for information. The Alternates are pleased to report that the established procedures have been functioning satisfactorily in the manner intended. A recent and conspicuous example is a pending request in the form of a questionnaire from the GOJ to American and other non-Ryukyuan businessmen. The Commission will receive the questionnaire, distribute it through channels to the appropriate businessmen, and then return the completed copies of the questionnaire to the GOJ Element of the Commission for forwarding to Tokyo.
6. The list in the 3 June 1970 Report to the Preparatory Commission from the Alternates, tentatively identified as being primarily within the jurisdiction of the Subcommittee on Local Preparations for Transfer of Administrative Rights, has remained unchanged. However, the Alternates recommend that, after they study and reach agreement on which items listed have financial implications, they be permitted to transfer these items from the Commission to the USCAR Comptroller Department, the GRI Planning Department, and OBONTA for further consideration and subsequent report back to the Alternates. The Commission is invited to approve the proposed study and transfer of these items.
7. The U S side has been working on a plan for a more comprehensive approach to the transfer of administrative rights. The Alternates propose that when this plan has been received by them it will be studied and assignments will be made to the appropriate subcommittees for further action in keeping with established procedures. The Commission is invited to approve this proposed



action.

8. Newly submitted to the Subcommittee on Local Preparations to Facilitate Application to Okinawa of SOFA (hereinafter "SOFA Subcommittee") is a paper on "Review of Proclamations and Ordinances in Relation to Application of SOFA to Okinawa." This paper is at TAB A. The Alternates recommend that the SOFA Subcommittee conduct the proposed review to determine which parts of the proclamations and ordinances, if any, should be considered for possible modification before reversion, in the interest of helping to provide for a smooth transition of the application of SOFA to Okinawa. The Alternates invite the Commission to approve such review.

9. To respond to the request of the Consultative Committee to be kept informed of the progress of the Commission from time to time, the Alternates recommend that a copy of this report, under the title of "Report to the Consultative Committee from the Preparatory Commission," be forwarded through proper channels to ConCom together with an indication of the action taken on it by the Commission at the 1 July meeting.

ソカヒ 万大 電版

大政事務外信  
務次典房  
官官審長長  
備録電厚計  
備録入常給  
国資長  
参調析企  
参領旅移

参地中東  
北西  
参北北保  
中南  
参西東洋  
西東

近ア長  
参近ア  
次総経国万

長参統  
参政技二  
同一理  
参家協

国参政総科  
長理社博  
参道内外  
文後

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘 277

総番号(TA) 277  
 70年 7月 15日 15時 15分 冲能 主管  
 70年 7月 15日 19時 10分 本省 発着 米北1

外務大臣殿 高瀬 臨時代理大使 総領事 代理

フィアリー長官談話

第201号 極秘

1. 昨/4日よるの参訪官えん席において本使よりフィアリーに対し同官の提出したるプロポーザルはPREPCOMの討議の基ばんとなるべきものにして結構なりと述べたるが、原案にはPHASE 4.として復帰後の事態に対処する部分が存在したるが、外務省の意見をとり入れただし書として過渡的の措置のあるべきことをそう入するに止めた次第である。右は法理的には想定される問題であるが **全体的には好くない**と考えている。と述べた。
2. なお、フィアリーは先般の米大使会議につき若干のCOMMENTを行なったが、本使のみみそとに残りたるものは
  - (イ) ホンコン米総領事は中共の生産性は1950年代末期と同一にして人口増も他より見て現在はきゆうばりの状態にあり、必然的に対外融和の施策をとらざるを得ずと見おること。
  - (ロ) アジア諸国に対する「コンキッドマン」を守るべしといふのが参列大使の共通の主張で財政上

外務省

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

の理由よりする経済及び軍事上の援助の削減は好ましくないとするものであつた。

(ハ) ヴィエトナム、カンボディア等の切迫した問題が多々あり、おきなわについては復帰の決定により既にかた付いたと見られているものの如く、自分に対し説明を求める旨の発言はなかつた。もち論自分も若干の発言をなしたが大領領に対する真の事項の起草委員となりなかなか多ぼうであつたし、またきよう味あるしごとをした。

(3)

外務省





1. THE ALTERNATES WISH TO ANNOUNCE THAT MISS MITSUO (MGA) HAS BEEN HIRED BY THE GRI TO WORK IN THE JOINT SECRETARIAT. SHE HAS A MASTER'S DEGREE IN JOURNALISM FROM THE UNIVERSITY OF IOWA. THIS ACADEMIC ACCOMPLISHMENT PLUS HER BILINGUAL ABILITY MAKE HER A GREAT ASSET TO THE COMMISSION.

2. TO

FACILITATE THE WORK OF THE COMMISSION AT THE SUBCOMMITTEE LEVEL, THE ALTERNATES HAVE AGREED THAT ALL FUTURE ITEMS MUST BE INTRODUCED AT THEIR LEVEL BEFORE THEY GO TO THE SUBCOMMITTEES, AND THAT THE LATTER AS A CONSEQUENCE WILL ONLY STUDY THOSE ITEMS APPROVED FOR THEIR CONSIDERATION AMONG OTHER ADVANTAGES WILL BE A SAVING OF TIME WHEN QUESTION OF JURISDICTION ARE INVOLVED, AND THE GREATER CERTAINTY WITH WHICH THE SUBCOMMITTEES WILL NOW BE ABLE TO PROCEED WITH THEIR WORK.

3. AT THE 1 JULY 1970 PRINCIPALS' MEETING, THE ALTERNATES REPORTES THAT THE U S SIDE WAS WORKING ON A PLAN FOR A MORE COMPREHENSIVE APPROACH TO THE TRANSFER OF ADMINISTRATIVE RIGHTS. THE COMMISSION APPROVED THE ALTERNATES' PROPOSAL TO STUDY THE PLAN UPON ITS RECEIPT AND TO MAKE ASSIGNMENTS TO APPROPRIATE

SUBCOMMITTEES. THIS COMPREHENSIVE PLAN, WHICH WAS OFFICIALLY ACCEPTED BY THE ALTERNATES ON 14 JULY, IS ENTITLED " PROPOSAL TO FACILITATE THE TRANSFER AT REVERSION OF CIVIL ADMINISTEATIVE RIGHTS. " A COPY IS AT TAB A. THE CIVIL ADMINISTRATOR ATTENDED TWO ALTERNATES' MEETINGS TO EXPLAIN THE PLAN AND TO ANSWER QUESTIONS ON IT. THE GOJ AND GRI ALTERNATES AGREE THAT THE USG PROPLSAL WILL GLEATLY FACILITATE THE WORK OF THE COMMISSION TO PREPARE FOR A SMOOTH TRANSFER OF ADMINISTRATIVE RIGHTS SEMICOLON; THEY HAVE ALSO INDICATED THEIR WILLINGNESS TO STUDY THE PROPOSAL AT LENGTH IN THE APPROPRIATE SUBCOMMITTEES. AT THE DIRECTION OF THE ALTERNATES, THE ADMINISTRATIVE RIGHTS SUBCOMMITTEE HAS BEGUN TO WORK ON THE PLAN IN KEEPING WITH ESTABLISHED PROCEDURES. THE COMMISSION IS INVITED TO APPROVE THE ACTION TAKEN AND TO DIRECT THE ALTERNATES TO MOVE FORWARD TO THE PREPARATION OF THE IMPLEMENTATION SCHEDULES CALLED FOR IN THE " PRINCIPLES AND GUIDELINES " FOR EVENTUAL SUBMISSION TO THE CONSULTATIVE COMMITTEE.

4. ALSO AT THE 1 JULY

1970 PRINCIPALS' MEETING, THE ALTERNATES SUBMITTED A PAPER ON "REVIEW OF PROCLAMATIONS AND ORDINANCES IN RELATION TO APPLICATION OF SOFA TO OKINAWA." THE COMMISSION APPROVED THE PROPOSED REVIEW TO DETERMINE WHICH PARTS OF THE PROCLAMATIONS AND ORDINANCES, IF ANY, SHOULD BE CONSIDERED FOR POSSIBLE MODIFICATION BEFORE REVERSION, IN THE INTEREST OF HELPING TO PROVIDE FOR A SMOOTH APPLICATION OF THE SOFA TO OKINAWA. AN AD HOC PANEL HAS BEEN APPOINTED UNDER THE SOFA SUBCOMMITTEE TO STUDY HICOM LEGISLATION AND SINGLE OUT THOSE PARTS RELATED TO SOFA ARTICLES. THE PANEL WILL SUBSEQUENTLY REPORT ITS FINDINGS TO THE SOFA SUBCOMMITTEE.

5. AT THE DIRECTION OF THE ALTERNATES, THE SUBCOMMITTEE FOR INDUSTRIAL AND ECONOMIC AFFAIRS HAS REVIEWED AND CLARIFIED ITS LIST OF ECONOMIC ITEMS. THE ALTERNATES WILL NOW REVIEW THE WORK OF THIS SUBCOMMITTEE AND WILL ASSIGN TO IT THOSE ITEMS AGREED UPON AS WARRANTING FURTHER STUDY AND APPROPRIATE ACTION.

6. THE THREE GOVERNMENTS HAVE AGREED THAT THE GRI WILL UNDERTAKE TO TRANSMIT, THROUGH THE GOJ ELEMENT OF THE COMMISSION TO THE GOJ, COPIES OF FOREIGN

INVESTMENT APPLICATIONS TO THE GRI. SUCH COMMENTS AS THE GOJ MAY WISH TO MAKE ON THEM WILL BE FORWARDED TO THE GRI THROUGH THE PROPER CHANNELS AGREED UPON.

8. TO RESPOND TO THE REQUEST OF THE CONSULTATIVE COMMITTEE TO BE KEPT INFORMED OF THE PROGRESS OF THE COMMISSION FROM TIME TO TIME, THE ALTERNATES RECOMMEND THAT A COPY OF THIS REPORT, UNDER THE TITLE OF "REPORT TO THE CONSULTATIVE COMMITTEE FROM THE PREPARATORY COMMISSION," BE FORWARDED THROUGH PROPER CHANNELS TO CONCOM TOGETHER WITH AN INDICATION OF THE ACTION TAKEN ON IT BY THE COMMISSION AT THE 5 AUGUST MEETING.

37

7. The alternates invite the Commission to approve the holding of a press conference by the alternates immediately following this meeting.

5



THE PREPARATORY COMMISSION HELD  
ITS FIFTH MEETING ON 5 AUGUST. IN ATTENDANCE  
AT THE COMMISSION'S OFFICES IN NAHA WERE THE  
UNITED STATES REPRESENTATIVE, HIGH COMMISSIONER  
JAMES B. LAMPERT SEMICOLON THE REPRESENTATIVE  
OF THE GOVERNMENT OF JAPAN, AMBASSADOR JIRO  
TAKASE SEMICOLON  
AND THE ADVISER TO THE COMMISSION, MR. CHOBYO  
YARA, CHIEF EXECUTIVE OF THE GOVERNMENT OF THE  
RYUKYU ISLANDS. THE COMMISSION MEMBERS APPROVED  
A PROGRESS REPORT FROM ITS ALTERNATES. ACCORDING  
TO THIS REPORT, THE ALTERNATES AND THEIR STAFFS  
ARE STUDYING A COMPREHENSIVE UNITED STATES' PROPOSAL  
ENTITLED " PROPOSAL TO FACILITATE THE  
TRANSFER AT REVERSION OF CIVIL ADMINISTRATIVE  
RIGHTS. THE COMMISSION REPRESENTATIVES FOR  
THE GOVERNMENTS OF JAPAN AND OF THE RYUKYU  
ISLANDS <sup>believe</sup> ~~AGREE~~ THAT THIS PROPOSAL WILL ~~GREATLY~~  
FACILITATE <sup>preparation for</sup> ~~THE WORK REQUIRED~~ FOR A SMOOTH TRANSFER  
OF ADMINISTRATIVE RIGHTS LEADING UP TO THE TIME  
OF REVERSION. BASED ON DELIBERATIONS BY REPRESENTATIVES  
OF THE THREE GOVERNMENTS IN THE COMMISSION,  
THE UNITED STATES GOVERNMENT WOULD, WITH THE

AGREEMENT OF THE GOVERNMENT OF JAPAN, PROGRESSIVELY  
DISENGAGE ITSELF FROM VARIOUS ADMINISTRATIVE  
FUNCTIONS IT NOW PERFORMS ACCORDING TO THE  
FOLLOWING PHASES: PHASE I - FROM THE PRESENT  
UNTIL A UNITED STATES-JAPAN REVERSION AGREEMENT  
HAS BEEN SIGNED. PHASE  
II - FROM SIGNATURE OF A REVERSION GAGREEMENT  
UNTIL ACHIEVEMENT OF NECESSARY CONGRESSIONAL AND  
DIET SUPPORT. PHASE III - FROM THE TIME OF  
LEGISLATIVE APPROVAL UNTIL THE DAY OF REVERSION.  
AS DELIBERATIONS ARE COMPLETED BY THE THREE  
GOVERNMENTS ON THE PROGRESSIVE TRANSFER OF  
ADMINISTRATIVE FUNCTIONS TO THE GOVERNMENT OF THE  
RYUKYU ISLANDS AND TO THE GOVERNMENT OF JAPAN, PUBLIC  
ANNOUNCEMENTS WILL BE MADE BY THE PREPARATORY  
COMMISSION. THE ALTERNATES ALSO INFORMED THE  
COMMISSION OF THE PROGRESS MADE BY THE SUBCOMMITTEE  
ON " LOCAL PREPARATIONS TO FACILITATE APPLICATION  
TO OKINAWA OF SOFA. AA AMONG OTHER STEPS TAKEN,  
AN AD HOC PANEL HAS BEEN  
FORMED TO STUDY U.S. ORDINANCES AND PROCLAMATIONS  
THAT ARE RELATED TO ARTICLES IN THE STATUS OF  
FORCES AGREEMENT. THE OBJECTIVE IS TO DETERMINE



WHAT LOCAL LEGISLATIVE OF OTHER ACTIONS MIGHT BE  
REQUIRED TO PREPARE FOR THE APPLICATION OF THE  
SOFA TO OKINAWA AT THE TIME OF REVERSION. THE  
NEXT MEETING  
OF THE COMMISSION WILL BE HELD ON WEDNESDAY, 2  
SEPTEMBER 1970.

(3)

ソカヒ 万大 傳販

大政事外外務省  
事務次長 典房  
臣官官審審長長  
儀給入電厚計  
儀書入会営給  
儀資長  
儀領移長

ア 参地中東  
長 北東西  
参北北保  
中南審  
参一  
参西東洋  
長 西東

近ア長  
参書近ア  
次総経国万  
参質統三  
参政技二  
国一理  
参案協規  
参政経科  
取社專  
参道内外  
長  
長  
長

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

1012

電信写

総番号(TA) 37802 主管  
70年7月31日 11時30分 仲 規 発  
70年8月1日 11時37分 本 省 着 半次/

外務大臣殿 高 渡 (大使) 臨時代理大使 総領事 代理

代理会議報告書及び新聞発表文各最終案文について通報

第240号 平  
往電第224号に関し

1. 8月5日の代表会議に提出する報告書及び新聞発表文の各草案を下記の通り一部修正し下記Aの表現を除き右を最終案とすることに合意した。なお、本31日帰任したショットは同日午後の代理会議において在京大使館と打合せた結果なりとて下記(2)の(C)の通り「米国提案の各条項に応じた諸機能の移行については日米協議委員会の承認を得たものを準備委員会より公表してゆく予定」なる趣旨に訂正したき旨申し出た。

ショットの説明によれば、本件にいうCONCOMの承認の対象はPHASE / の機能を具体的にいつ、如何なる方法で、如何なる程度まで移行するかについての内容なる趣のところ、りゆう政側は米側訂正案にあつさり同意したので当方も特に異議をとらえなかったが、電話による御指示もあり、貴見あらばおり返し回電ありたい。

A. PUBLIC ANNOUNCEMENTS WI

外務省

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

LL BE MADE BY THE PREPARATORY COMMISSION AS CONSIDERATION OF THE U S PROPOSAL, AND IN PARTICULAR AS RELINQUISHMENT OF FUNCTIONS PURSUANT TO ITS PROVISIONS, PROCEED.

新聞発表和文案下記(3)の通り。(なお、りゆう政側もその後よく考えたらこの案の方がBETTERと思うので同様のラインで再度米側と話し合いたい。とのこと。2.)

上記プレスステートメントの他、記者団の質問があつた場合に各PHASEで京経した機能のアイテムについてどの程度まで口頭で答えるべきかについて、来る3日フィリも交えた打合せ会で検討することとなつたので、心得べきことあらば御回電願いたい。

記

(1) 報告書(往電第225号の草案参照)

PARA 7. の全文をPARA 8. に替え、PARA 7. の文は次の通りとする。

7. THE ALTERNATES INVITE THE COMMISSION TO APPROVE THE HOLDING OF A PRESS CONFERENCE

-2-

外務省

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

RENCE BY THE ALTERNATES IMMEDIATELY FOLLOWING THIS MEETING.

(2) 新聞発表文 (往電第 226 号の草案参照)

(A) PARA 2 末び FACILITATE THE WORK REQUIRED FOR とあるを FACILITATE PREPARATIONS FOR に改める。

(B) PARA 2 末び ADMINISTRATIVE RIGHTS でピリオドを付し、RIGHTS に続く LEADING UP TO THE TIME OF REVERSION. は削除する。

(C) PARA 4 の AS DELIBERATIONS ARE LEFT BY THE PREPARATORY COMMISSION. まで全文削除し、次の文に改める。

PUBLIC ANNOUNCEMENTS WILL BE MADE BY THE PREPARATOR Y COMMISSION AS RELINQUISHMENT OF FUNCTIONS PURSUANT TO THE PROVISIONS OF THE U S PROPOSAL IS APPROVED BY THE CONSULTATIVE COMMITTEE

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

ただし、本パラグラフについては上記の通り米側と再調整中。

(D) PARA 5 の IN THE STATUS OF FORCES AGREEMENT の THE と STATUS の間に US-JAPAN の語をそう入する。

(3) 新聞発表和文。

1. 復帰準備委員会は 8 月 5 日、ナハの同委員会庁しやにおいて日本国政府代表タカセ・ジロウ大使、アメリカ合衆国政府代表ジェームス B. ランバート高等弁務官及び顧問たるヤラ・チヨウピヨウリゆうきゆう政府主席の出席のもとに第 5 回会議を行なつた。

2. 委員会は、代理会議より提出された進行状況に関する報告を承認した。同報告は各政府の代表代理及びその要員が返かん時における 民政の諸権限の移行を促進するための米国の包括的提案を検討中である旨明らかにしている。

準備委員会の日本国政府代表及び顧問たるリゆうきゆう政府行政主席は、本提案が施政権の円かつな移行のための準備を 大いに促進するものである 点で意見が一致している。

3. 復帰準備委員会における 3 政府代表による審議に基づき、米政府は日本国政府の同意を得て、現在遂行している諸々の行政機能から下記に従い段階的に離だつていく

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

ことになる。

第1段階 現在から返かん協定の調印まで

第2段階 返かん協定調印から必要な米国議会及び日本国会の承認の達成まで

第3段階 上記の承認から復帰の日まで

上記米国の提案の各条項に応じた諸機能の移行については日米協議委員会の承認を得て準備委員会より公表する予定である。

4. 代理会議はまた、準備委員会に対し、地位協定適用現地準備小委員会による作業の進捗よく状況について報告を行なった。

今まで講ぜられた措置のうちには日米地位協定の条項に関連する米国の布令布告を検討するための作業グループの設置が挙げられる。この目的は返かん時に地位協定をおきनावへ適用するための準備としてどのような現地立法や他の方策が必要になつてくるかを決定することにある。

5. 次回の準備委は9月2日(水曜日)に行なわれる予定である。

(7)

-√-

万大  
長殿

大蔵省  
事務次長  
典房  
長官官審審長  
儀給人電厚計  
備書文会當給  
備費

調査長  
参調折企  
領移長  
参領移

ア 参地中東  
長 北東西  
米 参北北保  
中南  
参一  
西東洋  
長 西東

近ア  
参近ア  
次総経國万  
長 参統三  
参政技二  
参協協  
長 参政経科  
参社等  
参内外  
長 参文長  
一一

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 3033 主管  
 70年8月3日 17時30分 米北  
 70年8月4日 00時08分 米北

外務大臣殿 高瀬 大使 臨時代理大使 総領事 代理

準備委員会

第245号 略 至急

往電第240号に門し

3日代表レベルによるAD HOC MEETINGを開き。5日発表すべき (1) PRESS STATEMENTの内容及び、(2) 記者団の質問があつた際発表し得る各PHASEのアイテムにつき調整した結果は次の通りの趣。

(1) についてはわが方としては、日米往電(2)の(C)の米修正文案よりは同電/。のAの文案を推したいと主張したところ。米側は再度在京大使館と電話連絡した結果、結局本パラグラフは発表文から全文削除することとし、必要の場合には記者会見の原口頭で当方案文のラインで補足説明することに米りゆう共合意した。

(2) の記者会見で対外的に発表し得べきものとして次の通り決定した。

(1) PHASE /。A及びBの(1)の中。子供、教育、通商産業及び厚生、及びB(5)(6)(7)。

秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

(ロ) PHASE 2。A、B、Cのうち何れか研究の上一つを取り上げること予定している。

(ハ) PHASE 3。Cを除く全部。

(ニ) 残存機能BとC、止村。フェアリーより、「返かん時における民放諸機関の移行を促進するための米側提案」

(7月/6日付往電第80号の英文参照)のうちPHASE /。のB。の書き方を次の通り修正しなき旨申出たのでこれを了承した。即ち(1)のTAZATION AND REVENUEを測り(3)と(4)を外して新たに項目Cを設け、従来のCをDに替え、新しいCの文章は次の通りとする。

C. THE USG PROPOSES THAT THE GOJ PARTICIPATE WITH THE USG IN ASSISTING AND ADVISING THE GRI ON:

(1) THE FORMULATION OF THE GRI GENERAL ACCOUNT AND SPECIAL ACCOUNT BUDGETS.

(2) MANAGEMENT OF THE TRUST FUND BUREAU FUND.

(3) TAZATION AND REVENUE MATTERS (EXCEPT FOR TAKATION

秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

OF NON-RYUKYUAN PERSONS AND FIRMS)。  
(了)

外務省

秘

大務外分	官
務務	典房
次次	
區官官審審長長	
儀總人電厚計	
儀書文會管給	
儀資	
國資長領移長	參領旅移
參地中東	
北東西	
參北北保	
參一	
參西東洋	
參近ア	
次總経国万	
參領統皇	
參政技二	
國一理	
參公協規	
參政程科	
參社專	
參道内外	
一二	

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 38032 主管  
 70年8月3日17時55分 沖 経 発 北  
 70年8月3日22時22分 本 省 着 北  
 外務大臣殿 高瀬大使 総領事代理  
 新聞発表和文案 一部訂正  
 第246号 平 至急  
 往電第240号の記(3)で通報した新聞発表和文案下記の通り修正ありたい。  
 記  
 1. 発表文3. 「復帰準備委員会における三政府代表による審議に」とあるうち「三政府代表による」の字くを削除する。  
 2. 同3. の末び「上記米国提案の各条項に応じた。... 準備委員会より公表する予定である。」のパラグラフは全文削除す。  
 (了)

外務省

対大

89

ソカ  
ヒロ

万六  
博飯

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

秘  
264

電信写

大蔵省  
事務次長  
臣官官審審長長  
儀総入厚計

能書文会當給

参調析企  
参領旅移

ア 参地中東  
長 北 東 西  
水 参北北保  
長 参一  
中 参西東洋  
長 西 京

近 参参近ア  
了 次総総國万  
長

長 参改技二  
協 國一理  
長 参参  
長 参政経科

長 参社專  
長 参道内外  
長 参  
長 参

総番号(TA) 38/38  
70年8月4日11時10分 沖繩 主管  
70年8月4日13時15分 本省 発着 米北

外務大臣殿 菅瀬 (大使) 臨時代理大使 総領事 代理

プレス・リリース修正

第248号 略 大至急

往電第246号に關し

1. 電話にてお申しのあつたプレス・リリースの修正について米側とせつしようしたところ。既に合意を見た重要部分につき新たな修正を受入れることは、弁務官の不在中でもあり不本意であるとの反応であつたところ。えい意説得の結果 AGREE は原案のままとする代りに (この点米側は THAT 以下のクローズは単なる準備の促進の意味であり、米案に対する価値判断は含まれていないので AGREE の変更は理解し得ずとして譲らず) GREATLY を削除することを納得し、下記の案をファイナルなものとして合意したので事情御了承ありたい。

「THE COMMISSION REPRESENTATIVES FOR GOJ AND GRI AGREE THAT THIS PROPOSAL WILL FACILITATE PREPARATIONS FO

外務省

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

秘

電信写

R A SMOOTH TRANSFER OF ADMINISTRATIVE RIGHTS」

右に伴いプレス・リリース和文該当部分の「大いに」を削除ありたい。(報告書第3項についても同じ)

2. 5日は午後4時より代理による記者会見を行なうところ。東京におけるプレス・リリースの配布は御地才なまことながう存じ 同時とし、従来の経験にかんがみエンペーゴ一付きの事前配布は行なわざるよう特に御配慮ありたい。

(丁)

外務省

40





3

3. 「返還時における民政権限の移行を促進するため米側提案」につき、準備会議への報告の直前に<sup>至リ</sup>米側より修正を申し込<sup>至リ</sup>小越はたことば遺憾であるが、<sup>前記</sup>提案は目下のところ米側の提案にとどまり具体的内容各局間への配分等については今後の準備委員会における討議を通じて確認されてゆくものと考へており、<sup>（は）</sup>日頭貴堂存お書の米側修正提案についても<sup>（は）</sup>含み込めて受諾する次第に<sup>（は）</sup>なつて、<sup>（は）</sup>存日米側の考へと米側に<sup>（は）</sup>筋子バク議<sup>十分</sup>明いあかした。

(7)

(回覧番号) 外務省電信案 (分類)

機密表示 (機密・秘の未印)	符号表示 暗 <b>略</b> 平	総第 <b>04 109</b> 号
<b>秘</b>	第 <b>155</b> 号	昭和 <b>45</b> 年 <b>8</b> 月 <b>4</b> 日 時 <b>18</b> 分
<b>大至急</b>	大至急 至急 普通 LTF	発電係 <b>一也</b>

電信課長 (1) 土迄

(※印欄内は電信課記入)

大臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長	主管 アメリカ局長 参事官 北米第一課	主管局部課(室)名 <b>米北1</b> 起案 昭和45年8月4日 起案者 <b>吉川</b> 電話番号 <b>445</b>
---	------------------------------	--

協議先  
条約課長  
法規課長  
報道課長

在沖繩高瀬 臨時代理大使  
総領事 代理 大使 臨時代理大使  
あて **愛知** 大臣 発

電報 在 大使 臨時代理大使  
報 総領事 代理 あて

件名  
**プレス・リリース 修文**

**貴電第248号に因り、**

~~日頭貴電申し越~~ **通了承す。**

(昭和四二・七一改正)